

# 希望出生率の算出に関する報告書

令和6年8月

鎌倉市

# 目 次

|                                                |           |
|------------------------------------------------|-----------|
| <b>1 調査概要</b> .....                            | <b>3</b>  |
| <b>I. 調査の目的</b> .....                          | <b>3</b>  |
| <b>II. アンケート調査の内容と方法</b> .....                 | <b>3</b>  |
| <b>III. 希望出生率の概要</b> .....                     | <b>4</b>  |
| <b>2 調査結果</b> .....                            | <b>6</b>  |
| <b>I. 希望出生率</b> .....                          | <b>6</b>  |
| I-1. 今回の希望出生率.....                             | 6         |
| I-2. 希望出生率算出に係る留意事項.....                       | 7         |
| <b>II. アンケート調査の結果</b> .....                    | <b>10</b> |
| II-1. 留意事項.....                                | 10        |
| II-2. 回答者の属性.....                              | 10        |
| II-3. 調査結果概略.....                              | 14        |
| (1) 理想的な子どもの人数（既婚者）一問 3 .....                  | 14        |
| (2) 予定子ども数（既婚者）一問 4 .....                      | 17        |
| (3) 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由一問 5・6 ..... | 20        |
| (4) 今後の結婚に対する考え（未婚・離別・死別）一問 7 .....            | 28        |
| (5) 結婚後に欲しい子どもの人数（未婚・離別）一問 8 .....             | 32        |
| <b>III. 希望出生率のバックデータ</b> .....                 | <b>36</b> |
| <b>IV. 希望出生率の特性と対応の方向性に関する考察</b> .....         | <b>37</b> |
| <b>3 (参考) 調査票</b> .....                        | <b>38</b> |

# 1 調査概要

## I. 調査の目的

現行の第3次鎌倉市総合計画の終了に伴って、令和8年（2026年）度を始期とした新たな総合計画の策定をするにあたり、検討に必要な希望出生率の算出に必要なデータを収集するため、アンケート調査を実施した。また、アンケート調査の結果や国勢調査等の統計を用いて、希望出生率を算出した。

## II. アンケート調査の内容と方法

アンケート調査の概要は以下に示すとおりである。

図表 1 アンケート調査の内容と方法

| 項目    | 内容                                                                                                                                                                                         |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象  | 令和6年4月1日時点で住民基本台帳に記載されている満18歳以上49歳以下の市民(女性)の中から、無作為に抽出した2,000名                                                                                                                             |
| 調査方法  | <ul style="list-style-type: none"><li>本調査は、紙調査票及びWebアンケートを用いて実施した。</li><li>調査票は、対象者に対して郵送配布を行った。</li><li>対象者は、紙調査票の返送(郵送回収)またはWebアンケートの利用(Web回答)のうち、どちらかを選んで回答いただいた。</li></ul>             |
| 有効回答数 | 922票/2,000票（回収率:46.1%）<br>※うち、郵送回収297票、Web回答625票                                                                                                                                           |
| 調査期間  | 令和6年6月3日(月)～6月24日(月)                                                                                                                                                                       |
| 調査項目  | I. 回答者属性(年齢、婚姻状況)<br>(婚姻状態にある方への質問)<br>II. 理想的な子どもの人数<br>III. 予定している子どもの人数<br>IV. 理想的な子どもの人数が予定している子どもの人数よりも少ない理由<br>(婚姻状態にない方への質問)<br>V. 今後の結婚に対する考え<br>VI. 結婚後にほしい子どもの人数<br>※調査票は第3章を参照。 |
| 調査実施者 | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(MURC)                                                                                                                                                               |

### III. 希望出生率の概要

希望出生率とは、結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう場合に想定される出生率であり、2015年に政府が掲げた出生率の目標である。鎌倉市では、現行の人口ビジョンにおいて希望出生率が算出されている。

希望出生率の算出式は政府によって定められており、鎌倉市も同様の算出式を採用している。算出式は、図表 2 のとおり。

図表 2 希望出生率の算出式

$$\text{希望出生率} = (\text{有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定子ども数} + \text{独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \times \text{独身者の希望子ども数}) \times \text{離死別等の影響}$$

鎌倉市の現行の人口ビジョンにおける希望出生率（以下、「現行の希望出生率」とする。）の算出は、上記の算出式に基づき、図表 3 のデータを用いて算出している。現行希望出生率は、**1.74** である。

図表 3 現行の希望出生率算出のためのデータ

| 項目                   | 活用データ                                                                                           | 数値     |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 有配偶者割合               | 総務省統計局「国勢調査(平成 22(2010)年)」における 20 歳～34 歳の有配偶者の割合(女性) <sup>1</sup> 。                             | 36.9%  |
| 夫婦の予定子ども数            | 平成 27 年 10 月に実施した「鎌倉市 地方創生に関するアンケート調査」の結果(18 歳～49 歳女性の既婚者の予定子ども数を調査)。                           | 1.78 人 |
| 独身者割合                | 1－有配偶者割合によって算出。                                                                                 | 63.1%  |
| 独身者のうち結婚を希望する者の割合    | 平成 27 年 10 月に実施した「鎌倉市 地方創生に関するアンケート調査」の結果(18 歳～34 歳女性のうち「結婚を希望する」回答した割合を調査)。                    | 83.2%  |
| 独身者の希望子ども数           | 平成 27 年 10 月に実施した「鎌倉市 地方創生に関するアンケート調査」の結果(18 歳～34 歳の女性独身者のうち「結婚を希望する」と答えた者の希望子ども数を調査)。          | 2.27 人 |
| 離死別等の影響 <sup>2</sup> | 国立社会保障人口問題研究所(以下、「社人研」とする。))「日本の将来推計人口(平成 24(2012)年 1 月推計)」における出生中位の家庭に用いられた離死別等の影響(離死別再婚効果係数)。 | 0.938  |

<sup>1</sup> 現行の希望出生率では、国勢調査の神奈川県内の人口を採用している。

<sup>2</sup> 「離死別等の影響(離死別再婚効果係数)」は、離婚や死別、再婚などを経験した女性の出生児数は初婚どうし夫婦の女性のそれと比べて低い傾向があるという理由から、社人研が用いている調整のための係数であり、1に近いほど離死別を経験した女性と初婚の女性とで平均子ども数が同じことを意味する。

今回の算出する希望出生率（以下、「今回の希望出生率」とする。）は、現行の希望出生率との比較を可能とするため、活用するデータ及びその収集方法を同じとした。

図表 4 今回の希望出生率の算出のために用いたデータ

| 項目                | 活用データ                                                             | 算出方法                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 有配偶者割合            | 総務省統計局「国勢調査（令和2（2020）年）」における鎌倉市の20歳～34歳の有配偶者の割合（女性）。              | $(20 \text{ 歳} \sim 34 \text{ 歳女性のうち有配偶者の数}) \div (20 \text{ 歳} \sim 34 \text{ 歳女性の数})$                                                                                                                                       |
| 夫婦の予定子ども数         | 今回のアンケート調査の結果                                                     | $(18 \sim 49 \text{ 歳の既婚女性の予定する子どもの数}) \div (18 \sim 49 \text{ 歳の既婚女性数})$                                                                                                                                                     |
| 独身者割合             | 有配偶者割合の値より計算。                                                     | $1 - \text{有配偶者割合}$                                                                                                                                                                                                           |
| 独身者のうち結婚を希望する者の割合 | 今回のアンケート調査の結果                                                     | $(18 \text{ 歳} \sim 34 \text{ 歳の結婚していない(未婚または離別・死別)の女性のうち問7で「1.いずれ結婚するつもり」と回答した人数}) \div (18 \text{ 歳} \sim 34 \text{ 歳の結婚していない(未婚または離別・死別)の女性数})$                                                                            |
| 独身者の希望子ども数        | 今回のアンケート調査の結果                                                     | $(18 \text{ 歳} \sim 34 \text{ 歳の結婚していない(未婚または離別・死別)の女性のうち問7で「1.いずれ結婚するつもり」と回答した者の希望する子どもの数}) \div (18 \text{ 歳} \sim 34 \text{ 歳の結婚していない(未婚または離別・死別)の女性のうち問7で「1.いずれ結婚するつもり」と回答した人数})$                                         |
| 離死別等の影響           | 国立社会保障人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5（2023）年4月推計）」における出生中位の家庭に用いられた離死別等の影響。 | $\delta = \{P_d R_d + P_o R_o + P_{ff}\}(1 - \gamma)$ $\delta$ : 離死別再婚効果係数<br>$P_*$ : 女性の結婚経験の構成<br>$R_*$ : 各結婚経験の完結出生児数の比<br>$d$ : 離別<br>$o$ : その他（非初婚同士夫婦、死別）<br>$ff$ : 初婚同士夫婦<br>$\gamma$ : 1970年生まれの未婚の女性の割合 <sup>3</sup> |

<sup>3</sup> 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口－令和3（2021）～令和52（2070）年－」p.26  
[https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2023/pp2023\\_Report2c.pdf](https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2023/pp2023_Report2c.pdf)

## 2 調査結果

### I. 希望出生率

#### I-1. 今回の希望出生率

アンケートの結果等を踏まえ、希望出生率の算出を行った。希望出生率の算出式を構成する各項目の数値は、図表 5 のとおりであり、希望出生率は 1.65 となった。

図表 5 希望出生率の算出を構成する各要素の数値<sup>4</sup>

| 項目                | 数値     | (参考)アンケートの<br>単純集計の結果 |
|-------------------|--------|-----------------------|
| 有配偶者割合            | 26.8%  | 26.8%                 |
| 夫婦の予定子ども数         | 1.84 人 | 1.84 人                |
| 独身者割合             | 73.2%  | 73.2%                 |
| 独身者のうち結婚を希望する者の割合 | 83.9%  | 39.3% <sup>5</sup>    |
| 独身者の希望子ども数        | 1.98 人 | 1.94 人 <sup>6</sup>   |
| 離死別等の影響           | 0.966  | 0.966                 |
| 希望出生率             | 1.65   | —                     |

図表 6 希望出生率

希望出生率(1.65) = { 有配偶者割合 (0.268) × 夫婦の予定子ども数(1.84) + 独身者割合 (0.732) × 独身者のうち結婚を希望する者の割合 (0.839) × 独身者の希望子ども数 (1.98) } × 離死別等の影響(0.966)

図表 7 は、現行の希望出生率や政府・神奈川県の希望出生率を算出するために用いられたデータとの比較である。現行の希望出生率を算出するために用いられたデータとの比較では、有配偶者割合及び独身者の希望子ども数が減少し、希望出生率の低下に寄与した一方、夫婦の予定子ども数及び独身者のうち結婚を希望する者の割合は増加し、希望出生率の上昇に寄与した。離死別等の影響は、数値がわずかに上昇したため、希望出生率の上昇に寄与した。

政府の希望出生率を算出するために用いられたデータとの比較では、今回の希望出生率を算出するために用いたデータの方が、有配偶者割合及び夫婦の予定子ども数、独身者のうち結婚を希望する者の割合、独身者の希望子ども数が低くなっている。また、離死別等の影響は今回の希望出生率

<sup>4</sup> 希望出生率の算出は、図表 4 のとおり、項目により集計を行う年齢区分が異なる。そのため図表 5 の各項目の数値は、第2章Ⅱのアンケート調査の集計結果と異なる場合がある。

<sup>5</sup> 単純集計では、集計対象を 18～49 歳とし、「現時点ではわからない」や「回答したくない」、「無回答」を含めて集計している。希望出生率の算出に当たっては、政府や現行の希望出生率の算出方法と合わせるため、18 歳～34 歳を対象に、これらの選択肢を選んだ者を集計から除外し、集計しているため、両方で結果が異なる。

<sup>6</sup> 希望出生率では 18 歳～34 歳を対象に集計し、単純集計では 18～49 歳を対象に集計しているため、両方で結果が異なる。

を算出するために用いたデータの方が、数値が高くなっており、離死別等による希望出生率への影響は今回の希望出生率を算出するために用いたデータの方が小さい。

神奈川県希望出生率を算出するために用いられたデータとの比較では、今回の希望出生率を算出するために用いたデータの方が、有配偶者割合以外のすべての項目で数値が高くなっている。

図表 7 希望出生率の算出を構成する各要素の数値(政府目標との比較)

| 項目                    | 今回の希望出生率<br>のデータ<br>(2024 年のデータ) | 現行の希望出生率<br>のデータ<br>(2015 年のデータ) | 政府の希望出生率<br>のデータ<br>(2010 年のデータ) | 神奈川県の<br>希望出生率<br>のデータ<br>(2015 年のデータ <sup>7</sup> ) |
|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------------------------|
| 有配偶者割合 <sup>8</sup>   | 26.8%                            | 36.9%                            | 34%                              | 33.5%                                                |
| 夫婦の予定子ども数             | 1.84 人                           | 1.78 人                           | 2.07 人                           | 1.58 人                                               |
| 独身者割合                 | 73.2%                            | 63.1%                            | 66%                              | 66.5%                                                |
| 独身者のうち結婚を<br>希望する者の割合 | 83.9%                            | 83.2%                            | 89%                              | 77.6%                                                |
| 独身者の希望子ども<br>数        | 1.98 人                           | 2.27 人                           | 2.12 人                           | 1.90 人                                               |
| 離死別等の影響               | 0.966                            | 0.938                            | 0.938                            | 0.938                                                |
| 希望出生率                 | 1.65                             | 1.74                             | 1.8                              | 1.42                                                 |

## I-2. 希望出生率算出に係る留意事項

今回行ったアンケート調査は、現行の希望出生率と条件を揃えた形で今回の希望出生率を算出するため、現行の希望出生率算出に用いたアンケートと基本的に同じ設問文・回答選択肢とした。ただし、回答者への配慮の観点（回答者の心理的負担等）から、設問文や回答選択肢を一部修正した。そのため、今回の希望出生率の算出に当たって、集計を工夫している設問がある。両者の違いは図表 8、今回の集計の工夫は図表 9 のとおりである。

図表 8 今回と現行のアンケートの違い

| 今回のアンケート                                                                                                                                 | 現行の希望出生率算出に<br>用いたアンケート                                                                              | 相違点                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 問2<br>令和6年(2024 年)4月1日時点で<br>あなたはご結婚をされていますか。<br><br>1. 結婚している(既婚)<br>2. 結婚していない(未婚)<br>3. かつて結婚していたが、今は結<br>婚していない(離別・死別)<br>4. 回答したくない | 問 18<br>現在、ご結婚をされていますか。<br><br>1. 結婚している(既婚)<br>2. 結婚していない(未婚)<br>3. かつて結婚していたが、今は結<br>婚していない(離別・死別) | ・設問文の修正<br>・回答選択肢に「回答し<br>たくない」を追加。 |

<sup>7</sup> 神奈川県「神奈川県の希望出生率について」

(<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/31115/781105.pdf>)

<sup>8</sup> 有配偶者割合は、政府・神奈川県・鎌倉市のいずれも国勢調査から算出している。政府及び神奈川県並びに鎌倉市の現行の希望出生率は 2010 年、今回の希望出生率は 2020 年の国勢調査を用いている。独身者割合も同様である。

| 今回のアンケート                                                                                                                                                                      | 現行の希望出生率算出に<br>用いたアンケート                                                                                                   | 相違点                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| <p>問4<br/>あなた方ご夫婦は全部で何人お子さんを持つご予定ですか。</p> <p>1. 現時点ではわからない<br/>2. 0人／子どもを持つことは考えていない(考えていなかった)<br/>3. 1人<br/>4. 2人<br/>5. 3人<br/>6. 4人<br/>7. 5人以上 → ( 人)<br/>8. 回答したくない</p>  | <p>問42<br/>あなた方ご夫婦は全部で何人のお子さんを持つご予定ですか。</p> <p>1. 1人<br/>2. 2人<br/>3. 3人<br/>4. 4人<br/>5. 5人以上 → ( 人)<br/>6. 子どもは持たない</p> | <p>・回答選択肢に「現時点ではわからない」及び「回答したくない」を追加。</p>             |
| <p>問7<br/>あなたの今後の結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。</p> <p>1. いずれ結婚するつもり<br/>2. 現時点ではわからない<br/>3. 結婚するつもりはない<br/>4. 回答したくない</p>                                                           | <p>問32<br/>自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。</p> <p>1. いずれ結婚するつもり<br/>2. 一生結婚するつもりはない</p>                         | <p>・設問文の修正<br/>・回答選択肢に「現時点ではわからない」及び「回答したくない」を追加。</p> |
| <p>問8<br/>結婚後、お子さんをもつとしたら、何人くらいほしいですか。</p> <p>1. 現時点ではわからない<br/>2. 0人／子どもを持つことは考えていない(考えていなかった)<br/>3. 1人<br/>4. 2人<br/>5. 3人<br/>6. 4人<br/>7. 5人以上 → ( 人)<br/>8. 回答したくない</p> | <p>問37<br/>子どもは何人くらいほしいですか。</p> <p>1. 1人<br/>2. 2人<br/>3. 3人<br/>4. 4人<br/>5. 5人以上 → ( 人)<br/>6. 子どもは持たない</p>             | <p>・設問文の修正<br/>・回答選択肢に「現時点ではわからない」及び「回答したくない」を追加。</p> |

図表 9 今回の希望出生率の算出に当たって実施した集計上の工夫

| 項目                | 実施した集計上の工夫                                                                                                                                                                                            | 工夫の理由                                                                                 |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 夫婦の予定子ども数         | 問 4(あなた方ご夫婦は全部で何人お子さんを持つご予定ですか。)において「1.現時点ではわからない」又は「8.回答したくない」を選択した者、無回答の者を集計上除外した。                                                                                                                  | ・ 現行の希望出生率と回答選択肢を揃え、希望出生率の算出の条件を揃えるため。<br>・ 社人研「出生動向基本調査」と回答選択肢を揃え、希望出生率の算出の条件を揃えるため。 |
| 独身者のうち結婚を希望する者の割合 | 問 7(あなたの今後の結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。)又は問 8(結婚後、お子さんをもつとしたら、何人くらいほしいですか。)において以下の回答をした者を集計上除外した。<br><br>問 7:<br>「2.現時点ではわからない」又は「4.回答したくない」を選択した者、無回答の者<br>問 8:<br>「1.現時点ではわからない」又は「8.回答したくない」を選択した者、無回答の者 | 同上                                                                                    |
| 独身者の希望子ども数        | 同上                                                                                                                                                                                                    | 同上                                                                                    |

## II. アンケート調査の結果

### II-1. 留意事項

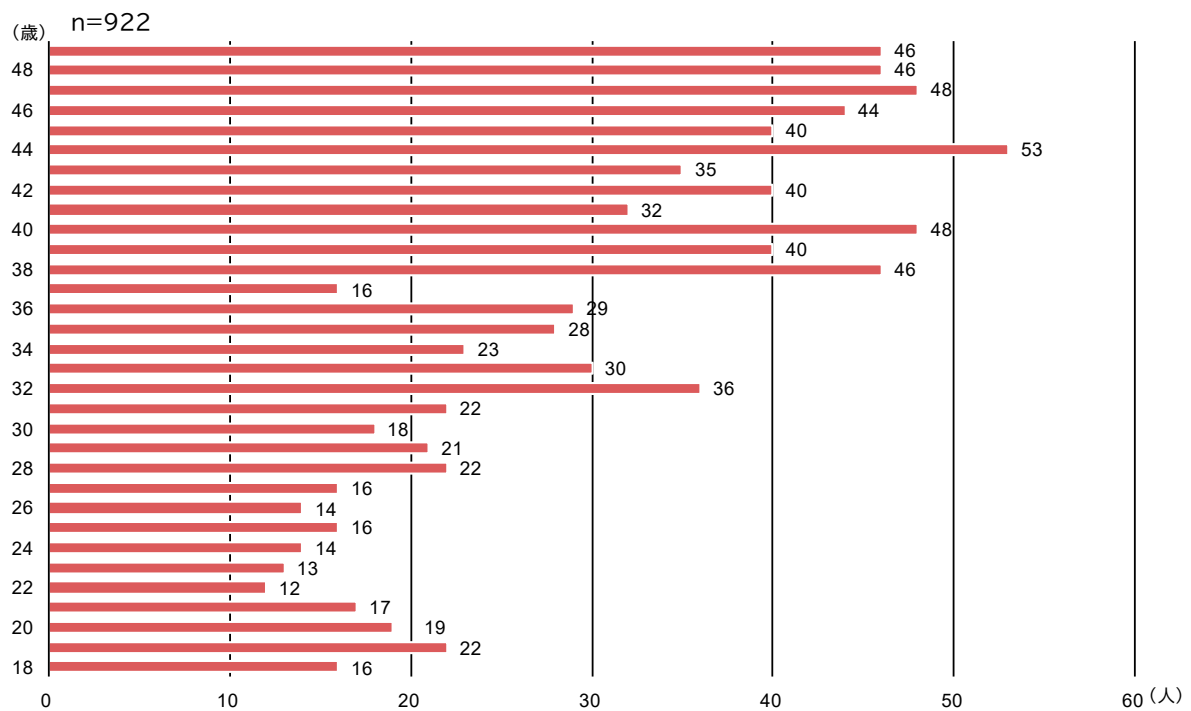
- ・ 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。したがって、小数点以下の表示上、グラフの%の合計が100%とならない場合がある。
- ・ グラフ中の「n」は、その質問への回答者数を示す。
- ・ 本文、表、グラフは表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

### II-2. 回答者の属性

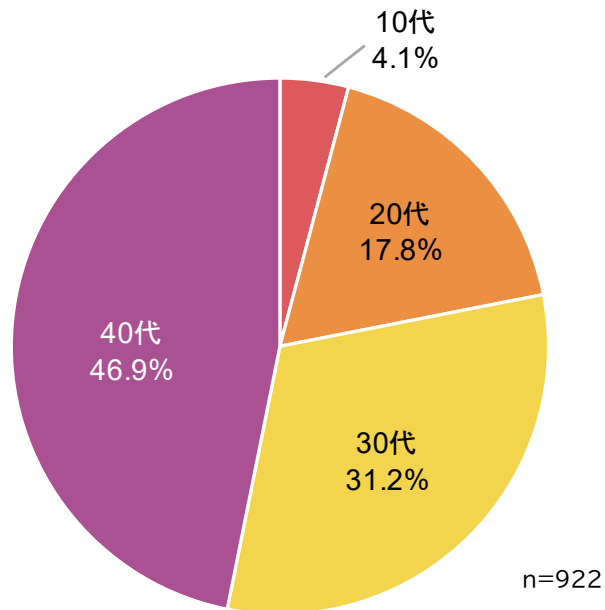
#### ①年齢・年代一問1

回答者の年代構成は、10代が4.1%、20代が17.8%、30代が31.2%、40代が46.9%となった。

図表 10 回答者の年齢



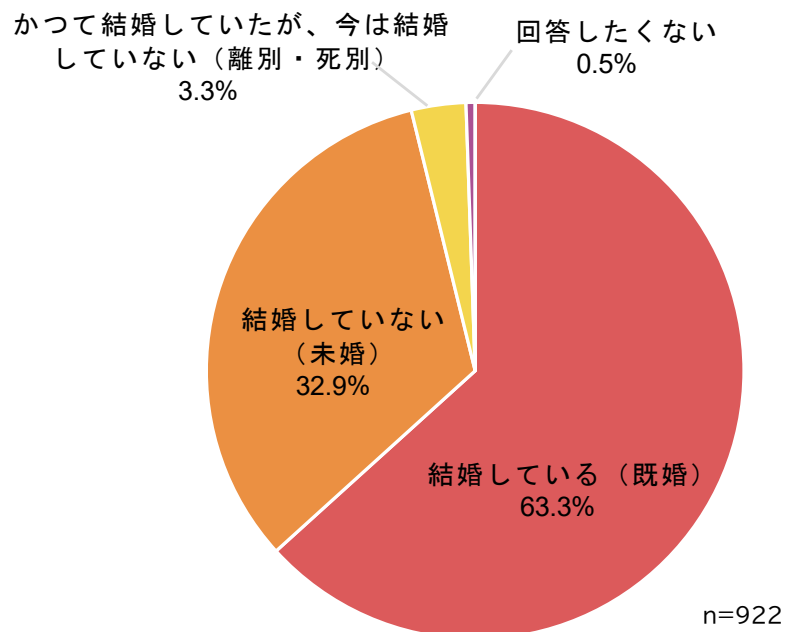
図表 11 回答者の年代



## ②婚姻状態一問2

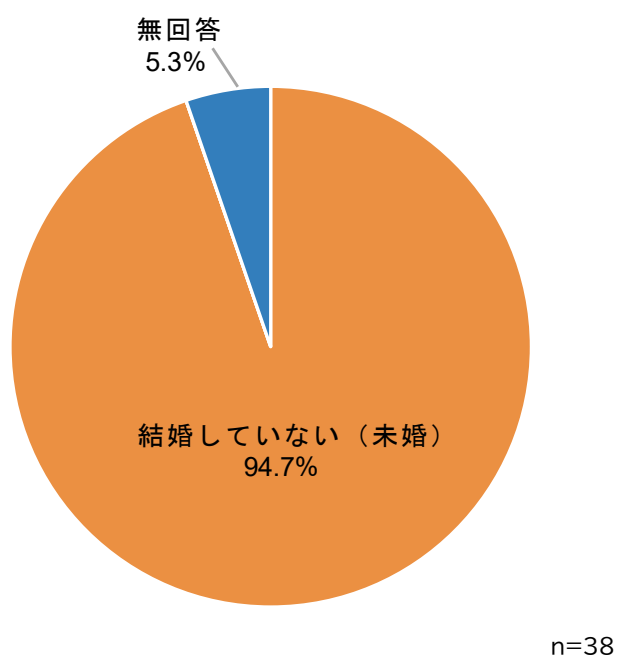
回答者の婚姻状態は、既婚が 63.3%、未婚が 32.9%、離別・死別が 3.3%となっている<sup>9</sup>。

図表 12 回答者の婚姻状態

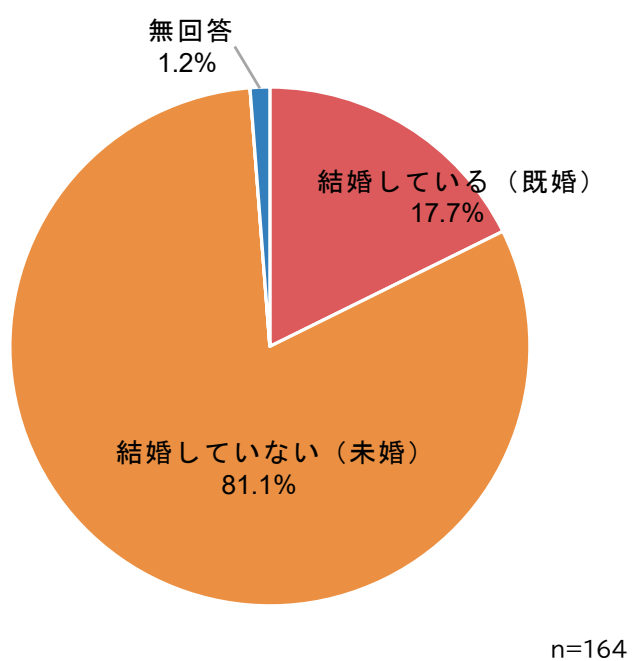


<sup>9</sup> 希望出生率算出の際の有配偶者割合は国勢調査から算出しているため、ここでの既婚者の割合とは異なる。

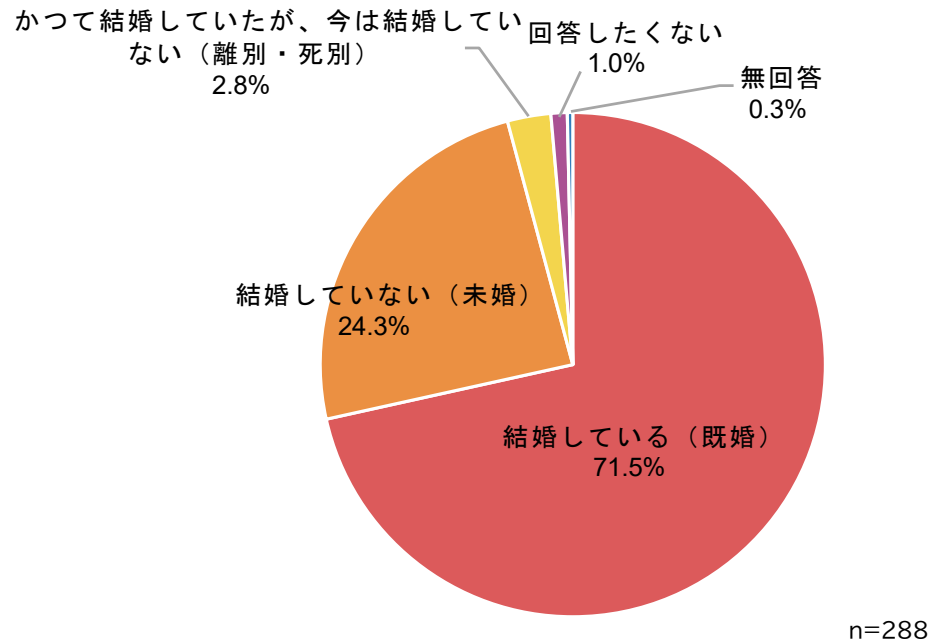
図表 13 回答者の婚姻状態（10代）



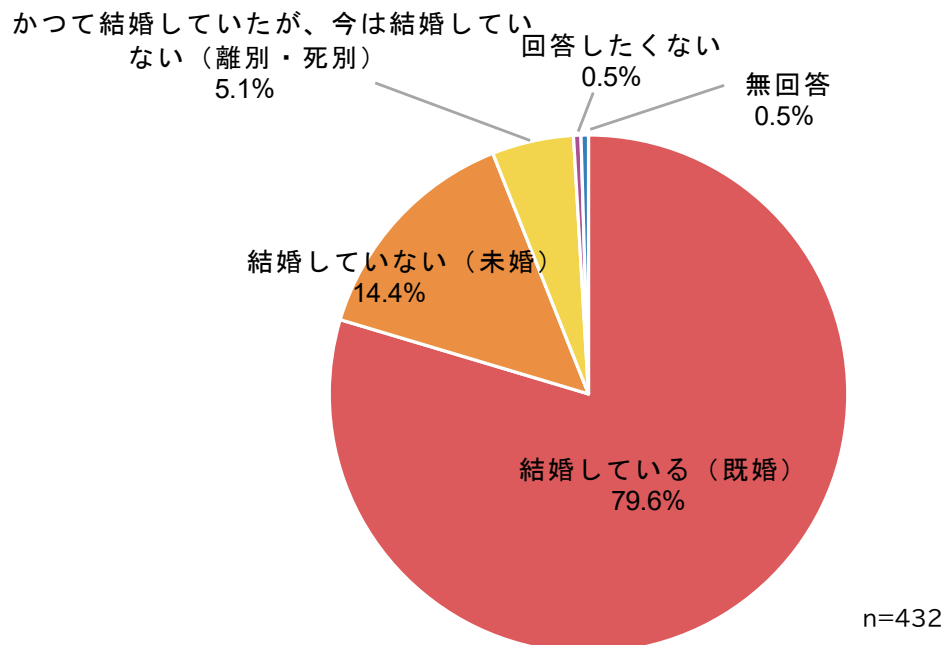
図表 14 回答者の婚姻状態（20代）



図表 15 回答者の婚姻状態（30代）



図表 16 回答者の婚姻状態（40代）



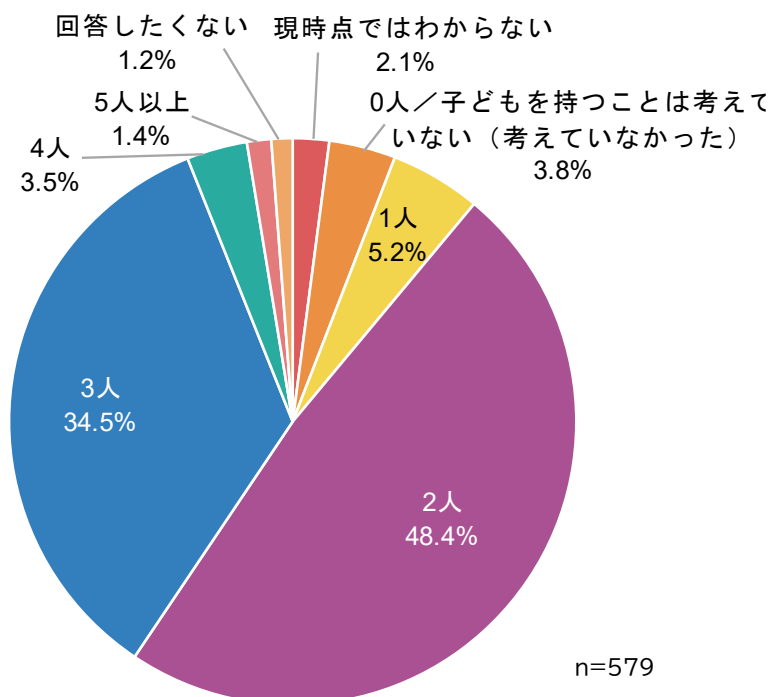
### II-3. 調査結果概略

#### (1) 理想的な子どもの人数（既婚者）－問3

既婚者の理想的な子どもの人数は、2 人が最も多く（48.4%）、次いで 3 人（34.5%）、1 人（5.2%）となっている。5 人以上と答えた 8 人は全員、理想的な子どもの人数を 5 人と回答している。「現時点ではわからない」及び「回答したくない」を除いて集計すると、既婚者の理想的な子どもの人数の平均は 2.34 人となる。

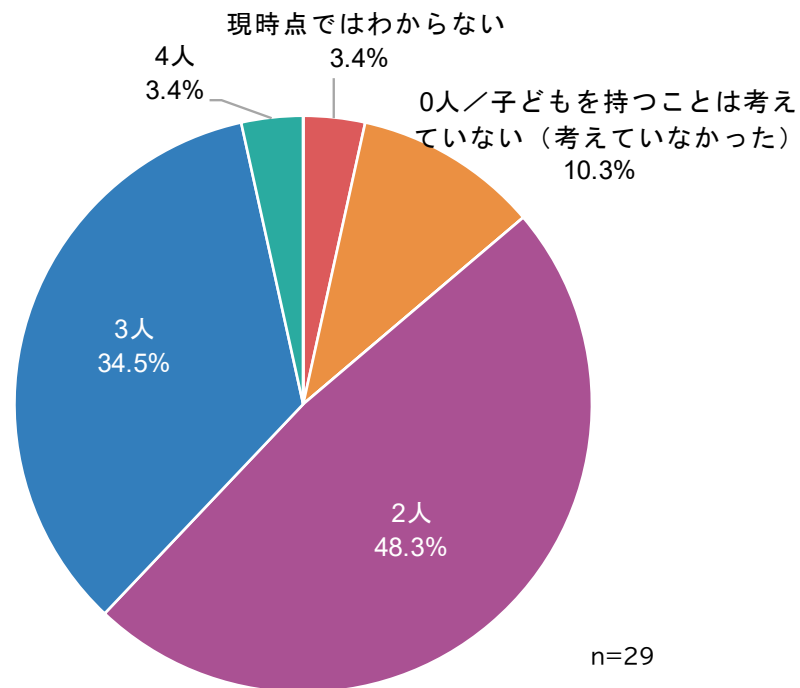
年代別の理想的な子どもの人数は、20 代が平均 2.21 人、30 代が平均 2.34 人、40 代が平均 2.35 人となる<sup>10</sup>。

図表 17 理想的な子どもの人数(既婚者)

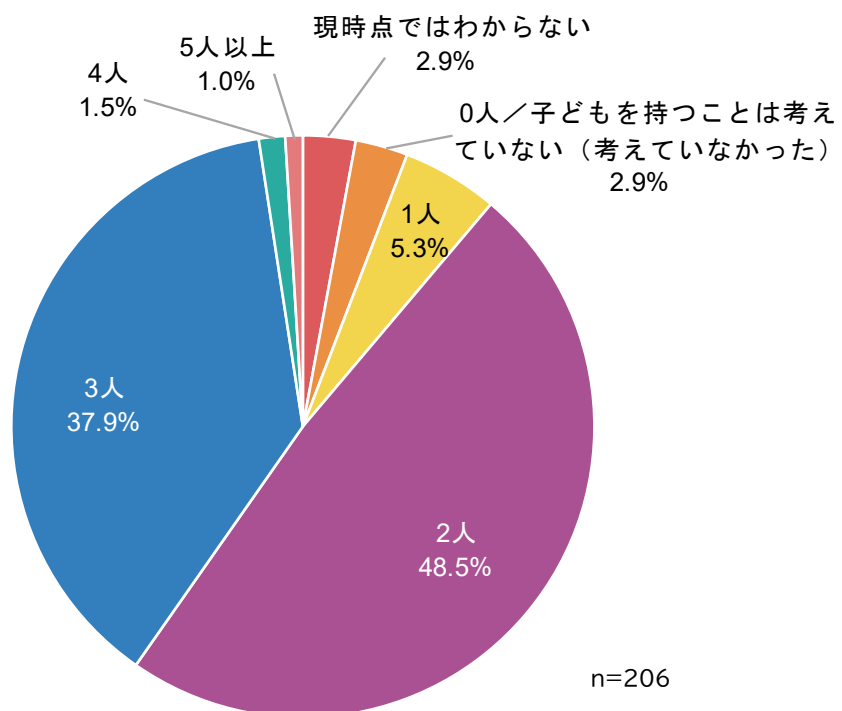


<sup>10</sup> 10 代は、アンケート回答者に既婚者がいないため、本設問への回答者がいない。

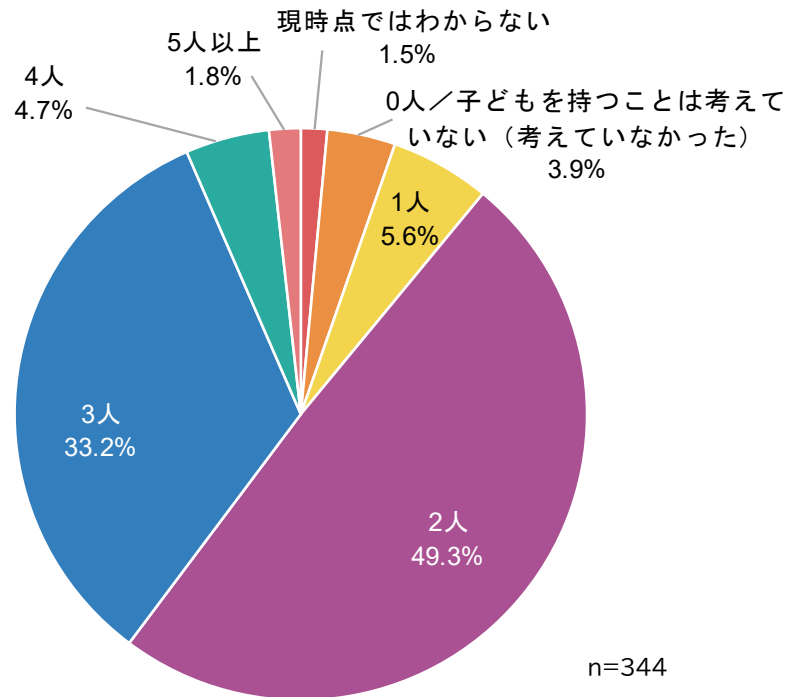
図表 18 理想的な子どもの人数(既婚者、20代)



図表 19 理想的な子どもの人数(既婚者、30代)



図表 20 理想的な子どもの人数(既婚者、40代)



現行の希望出生率を算出した際のアンケート調査における結果や社人研「出生動向基本調査」との比較は、図表 21 のとおりである。今回の希望出生率のアンケート調査の結果は、全体及び 30 代、40 代で社人研「出生動向基本調査（令和 3 年）」より高く、20 代で低い。社人研「出生動向基本調査（平成 22 年）」及び現行の希望出生率のアンケート調査との比較では、全てのカテゴリーにおいて今回の調査の方が低い。

図表 21 理想的な子どもの人数 - 比較

|      | 今回の希望出生率<br>のアンケート調査 | 現行の希望出生率<br>のアンケート調査 | 社人研「出生動向基<br>本調査(令和 3 年)」<br>11 | 社人研「出生動向基<br>本調査(平成 22<br>年)」12・13 |
|------|----------------------|----------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 全体   | 2.34 人               | 2.42 人               | 2.25 人                          | 2.42 人                             |
| 10 代 | －                    | －                    | 2.00 人                          | 2.00 人                             |
| 20 代 | 2.21 人               | 2.39 人               | 2.25 人                          | 2.51 人                             |
| 30 代 | 2.34 人               | 2.44 人               | 2.32 人                          | 2.38 人                             |
| 40 代 | 2.35 人               | 2.41 人               | 2.20 人                          | 2.43 人                             |

<sup>11</sup> 社人研「出生動向基本調査(令和3年)」を基に MURC が試算。鎌倉市の調査は女性のみを集計対象としているが、社人研の調査では、男性回答者の回答も含めた集計となっている。

<sup>12</sup> 国の希望出生率 1.8 は、社人研「出生動向基本調査(平成 22 年)」のデータに基づいて算出されている。

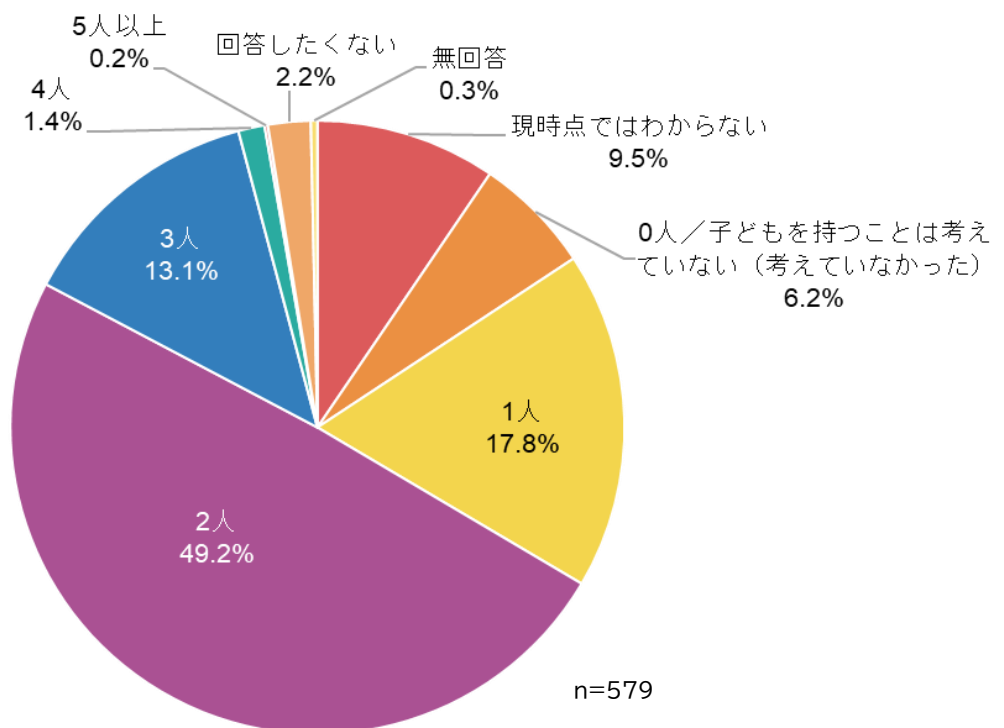
<sup>13</sup> 社人研「出生動向基本調査(平成 22 年)」を基に MURC が試算。鎌倉市の調査は女性のみを集計対象としているが、社人研の調査では、男性回答者の回答も含めた集計となっている。

## （２）予定子ども数（既婚者） 一問４

既婚者の予定している子どもの人数は、２人が最も多く（４９．２％）、次いで１人（１７．８％）、３人（１３．１％）となっている。５人以上と答えた人数は１人（０．２％）で、予定している子どもの人数は５人と回答している。「現時点ではわからない」及び「回答したくない」を除いて集計すると、平均は１．８４人となる。

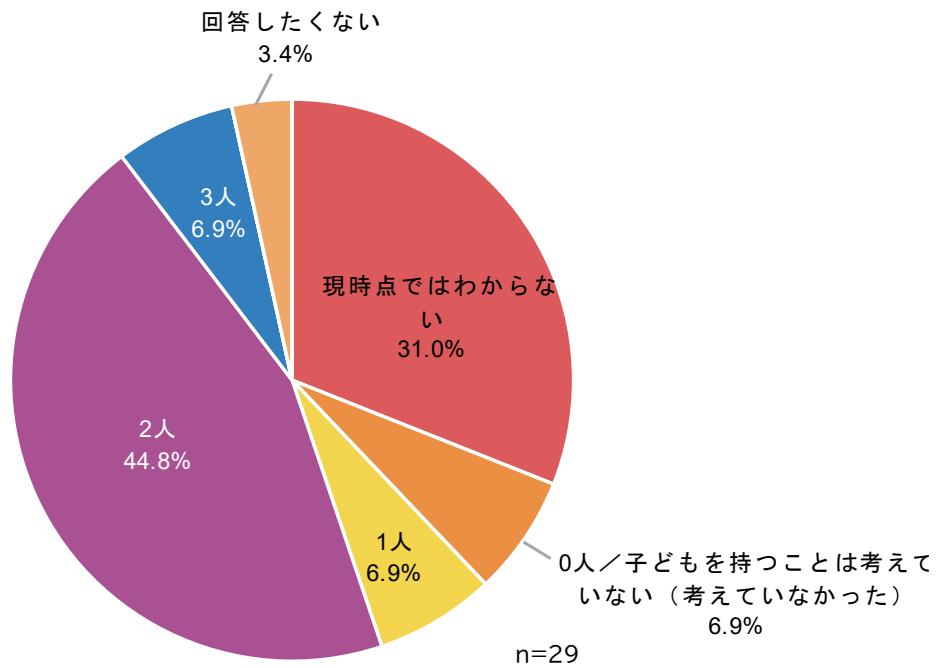
年代別の予定する子どもの人数は、２０代が平均１．７９人、３０代が平均１．８７人、４０代が平均１．８３人となる<sup>１４</sup>。

図表 ２２ 予定している子どもの人数(既婚者)

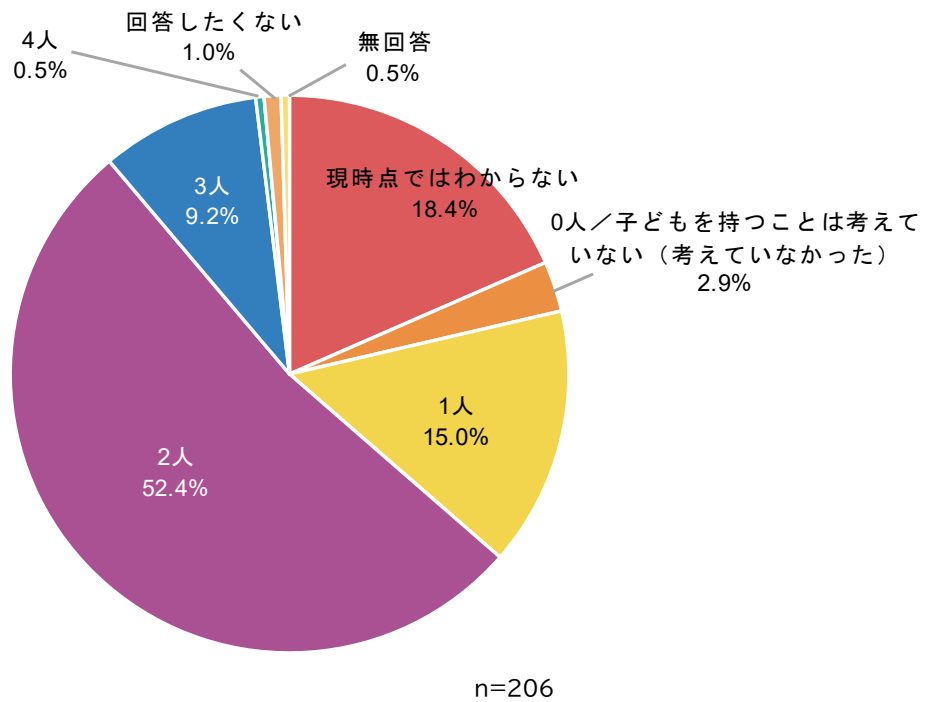


<sup>14</sup> 10代は、アンケート回答者に既婚者がいないため、本設問への回答者がいない。

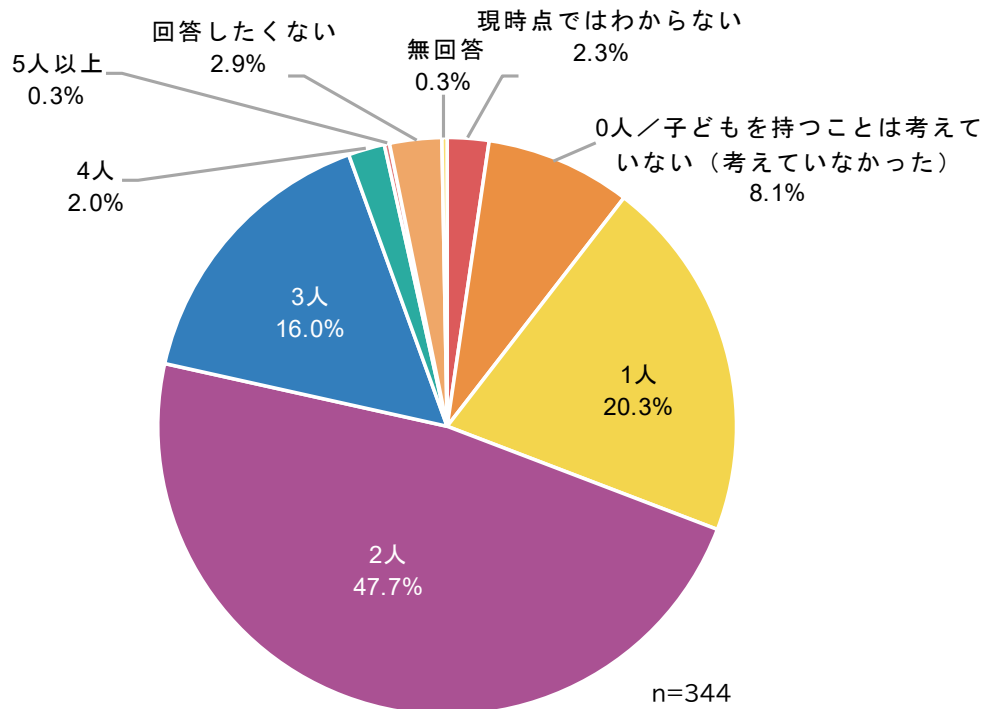
図表 23 予定している子どもの人数(既婚者、20代)



図表 24 予定している子どもの人数(既婚者、30代)



図表 25 予定している子どもの人数(既婚者、40代)



現行の希望出生率を算出した際のアンケート調査における結果や社人研「出生動向基本調査」との比較は、図表 26 のとおりである。今回の希望出生率のアンケート調査の結果は、現行の希望出生率のアンケート調査の 40 代以外、過去との比較及び全国との比較のいずれにおいても低い結果となっている。

図表 26 予定している子どもの数 - 比較

|      | 今回の希望出生率<br>のアンケート調査 | 現行の希望出生率<br>のアンケート調査 | 社人研「出生動向基本調査(令和3年)」<br>15 | 社人研「出生動向基本調査(平成22年)」<br>16・17 |
|------|----------------------|----------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 全体   | 1.84 人               | 1.88 人 <sup>18</sup> | 2.01 人                    | 2.07 人                        |
| 10 代 | —                    | —                    | 2.00 人                    | 1.00 人                        |
| 20 代 | 1.79 人               | 2.13 人               | 2.12 人                    | 2.40 人                        |
| 30 代 | 1.87 人               | 2.00 人               | 2.16 人                    | 2.09 人                        |
| 40 代 | 1.83 人               | 1.75 人               | 1.90 人                    | 1.99 人                        |

<sup>15</sup> 社人研「出生動向基本調査(令和3年)」を基に MURC が試算。

<sup>16</sup> 国の希望出生率 1.8 は、社人研「出生動向基本調査(平成 22 年)」のデータに基づいて算出されている。

<sup>17</sup> 社人研「出生動向基本調査(平成 22 年)」を基に MURC が試算。

<sup>18</sup> 現行の希望出生率の算出に用いられている予定子ども数(1.78 人)は、無回答者を分母に含めて計算しているが、ここでは含めていない。なお、社人研「出生動向基本調査」も「不詳」という回答は分母に含めずに計算している。

### （３）持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由－問５・６

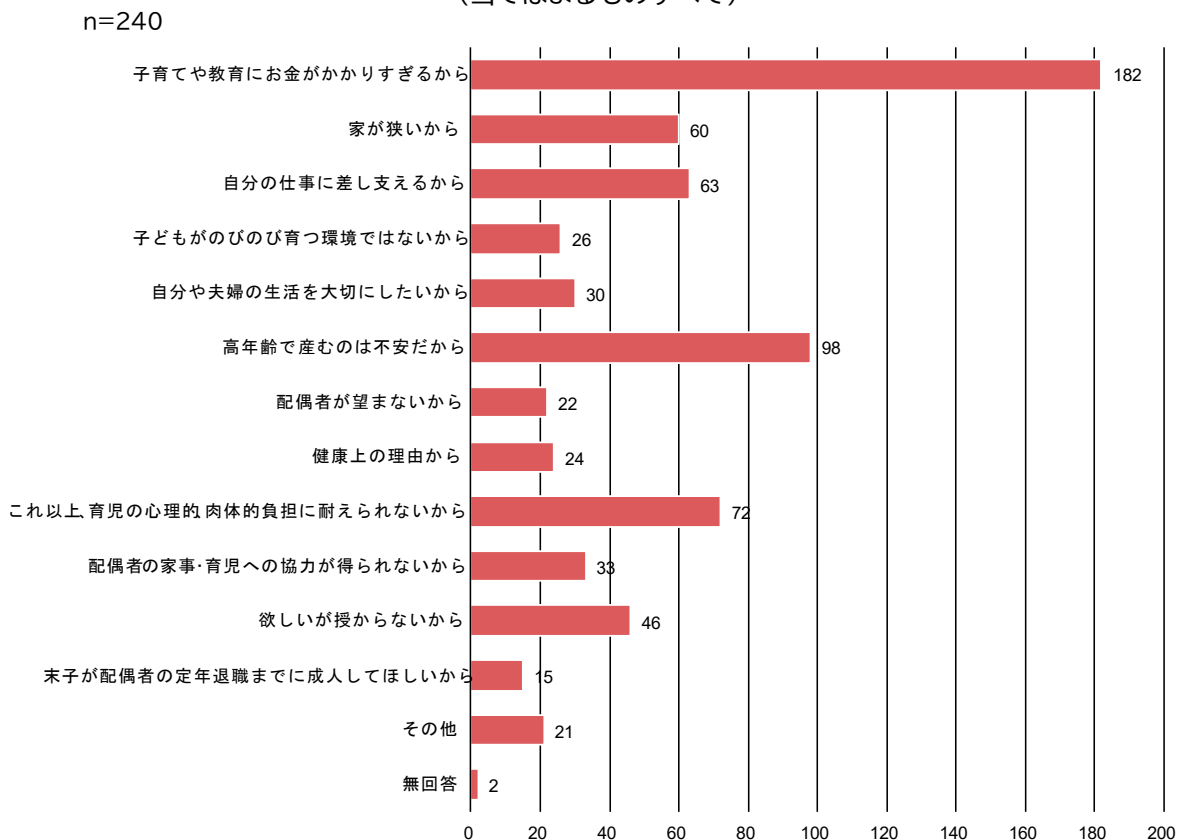
#### ①当てはまる理由すべて－問５

持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない回答者に対して、その理由を尋ねたところ、回答者の 75.8%が「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した。次いで、「高年齢で産むのは不安だから」（40.8%）、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」（30.0%）が理由として挙げられた。

年代別にクロス集計を行ったところ、各年代において選択された理由の上位トップ３は、図表 28 のとおりである。すべての年代において金銭的負担が大きいことを理由挙げている回答者が多く、20代は子育ての環境、30代は仕事との両立、40代は年齢・身体的負担を挙げている回答者が多い。

図表 27 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由

（当てはまるものすべて）



図表 28 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由

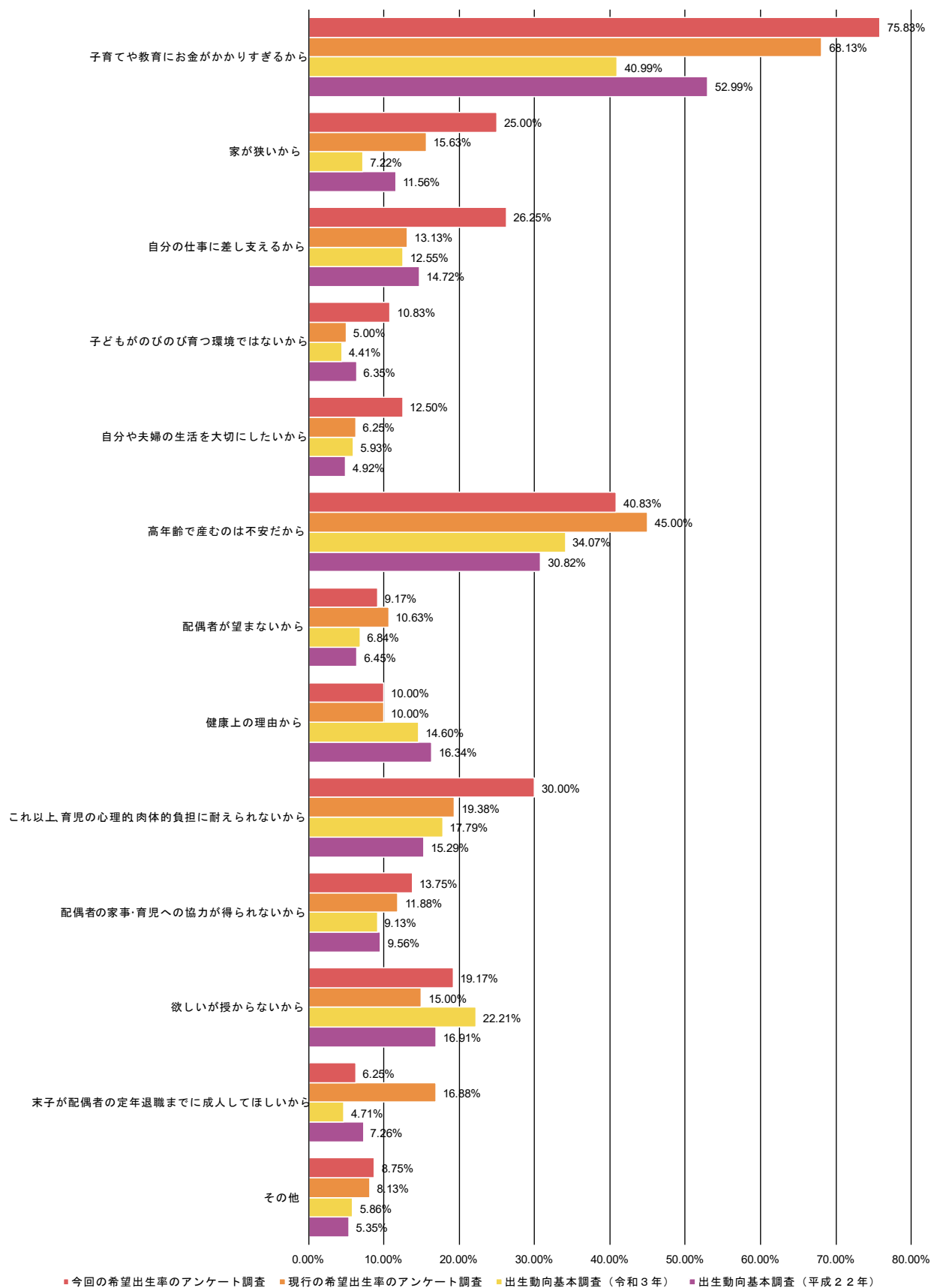
(年代別クロス集計、回答者数上位3つ)

| 順位 | 20代                                                                         | 30代                             | 40代                                     |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------|
| 1位 | 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」<br>(100%)                                              | 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」<br>(92.9%) | 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」<br>(64.9%)         |
| 2位 | 「家が狭いから」<br>「子どもがのびのび育つ環境ではないから」<br>(同率 25.0%)                              | 「自分の仕事に差し支えるから」<br>(33.3%)      | 「高年齢で産むのは不安だから」<br>(49.3%)              |
| 3位 | 「自分の仕事に差し支えるから」<br>「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」<br>「健康上の理由から」<br>「その他」<br>(同率 12.5%) | 「家が狭いから」<br>(32.1%)             | 「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」<br>(31.1%) |

現行の希望出生率を算出した際のアンケート調査や社人研「出生動向基本調査」との比較は、図表 29 のとおりである。全国のデータ（社人研「出生動向基本調査」）との比較では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」や「家が狭いから」、「自分の仕事に差し支えるから」といった経済的理由、「高年齢で産むのは不安だから」といった年齢的理由、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」といった配偶者に関する理由、「配偶者の家事・育児への協力が得られないから」といった育児負担、そして「子どもがのびのび育つ環境ではないから」や「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」といったその他の理由まで、今回のアンケート調査の結果の方が、全般的に割合が高くなっている。

過去のデータ（現行の希望出生率を算出した際のアンケート調査）との比較では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」及び「家が狭いから」、「自分の仕事に差し支えるから」といった経済的理由、「欲しいが授からないから」といった身体的理由、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」といった育児負担そして「子どもがのびのび育つ環境ではないから」や「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」といった項目を選択した回答者の割合が高い。

図表 29 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由 ― 比較



本設問が、当てはまるものすべてを選択する形式であることに焦点を当て、1人当たりの回答した選択肢数（回答数／回答者数）の比較を行ったところ、今回の希望出生率のアンケート調査で回答者が回答した選択肢数が多い結果となった（図表 30）。

現行の希望出生率のアンケート調査と比べて選んだ選択肢数が増加していることから、この数年で理想的な子どもの人数を持つことが実現できない理由が多様化していることが推察され、全国のデータと比べて選んだ選択肢数が多いことから、鎌倉市民が全国に比べてより複合的な課題を抱えていることが推察される。

図表 30 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由

－ 1人当たりの回答した選択肢数

|                        | 今回の希望出生率<br>のアンケート調査 | 現行の希望出生率<br>のアンケート調査 | 社人研「出生動向<br>基本調査(令和 3<br>年)」 <sup>19</sup> | 社人研「出生動向<br>基本調査(平成 22<br>年)」 <sup>20</sup> |
|------------------------|----------------------|----------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1人当たり<br>の回答した<br>選択肢数 | 2.88                 | 2.45                 | 1.86                                       | 1.99                                        |

年代区分別に集計し、今回の希望出生率のアンケート調査及び現行の希望出生率のアンケート調査、出生動向基本調査（平成 22 年）を比較したものが図表 31 である<sup>21</sup>。全体的な傾向は今回・現行・出生動向基本調査で同じとなっているが<sup>22</sup>、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」及び「自分の仕事に差し支えるから」、「子どもがのびのび育つ環境ではないから」、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」といった理由を選択した回答者の割合が、今回の希望出生率のアンケート調査が他の調査に比べて高くなっており、「末子が配偶者の定年退職までに成人してほしいから」という理由を選択した回答者の割合が、今回の希望出生率のアンケート調査が他の調査に比べて低くなっている。

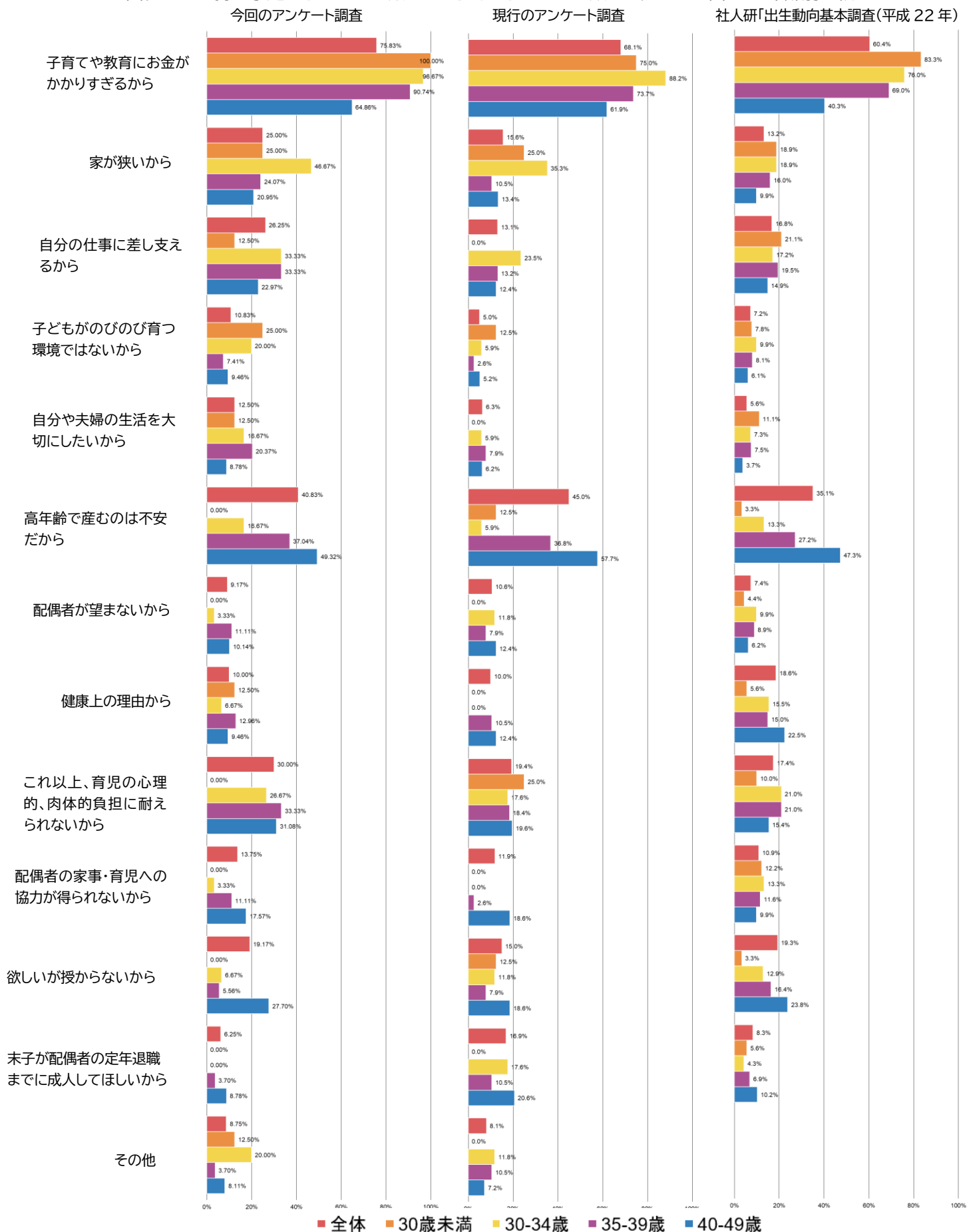
<sup>19</sup> 社人研「出生動向基本調査(令和3年)」を基に MURC が試算。

<sup>20</sup> 社人研「出生動向基本調査(平成 22 年)」を基に MURC が試算。

<sup>21</sup> 社人研「出生動向基本調査(令和3年)」の公表データには、比較可能なデータが含まれていなかった。

<sup>22</sup> 30 歳未満の区分は、回答母数が小さいことに留意されたい(今回の希望出生率のアンケート調査及び現行の希望出生率のアンケート調査はともに 8 人)。

図表 31 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由 — 年齢別比較

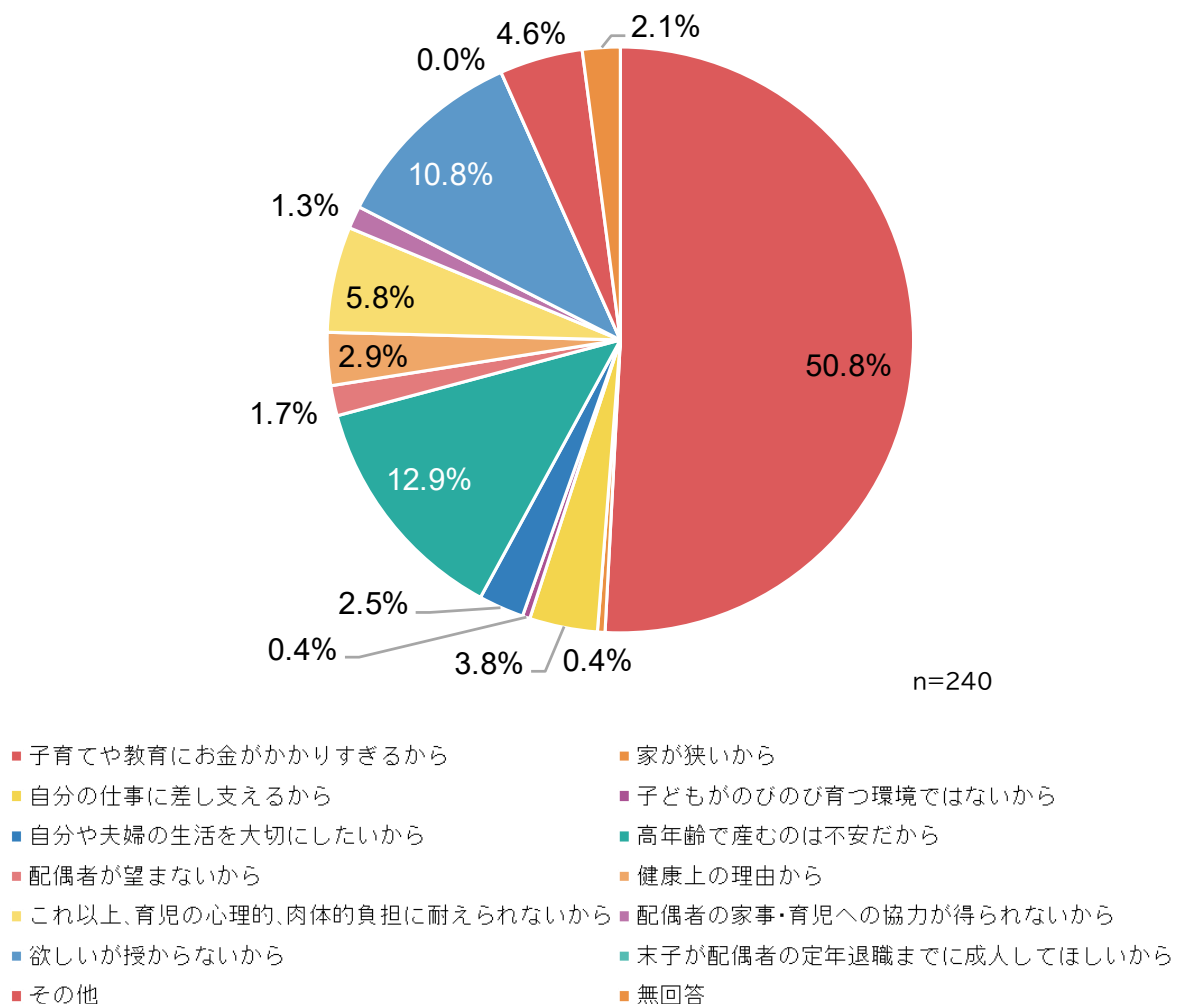


## ②最も当てはまる理由―問6

問5と同じ設問について、最も当てはまるものを尋ねたところ、回答者の 50.8%が「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した。次いで「高年齢で産むのは不安だから」（12.9%）、「欲しいが授からないから」（10.8%）となった。

年代別にクロス集計を行ったところ、各年代において選択された理由の上位トップ3は、図表 33 のとおりである。すべての年代において金銭的負担が大きいことを第一の理由として挙げている回答者が多く、20代は全員が金銭的負担を理由として挙げている。30代は自分や夫婦の時間を大切にしたいことや身体的負担を挙げている回答者、40代は高齢出産に対する不安や欲しくとも授からないことを理由に挙げている回答者が多い。

図表 32 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由  
(最も当てはまるもの)

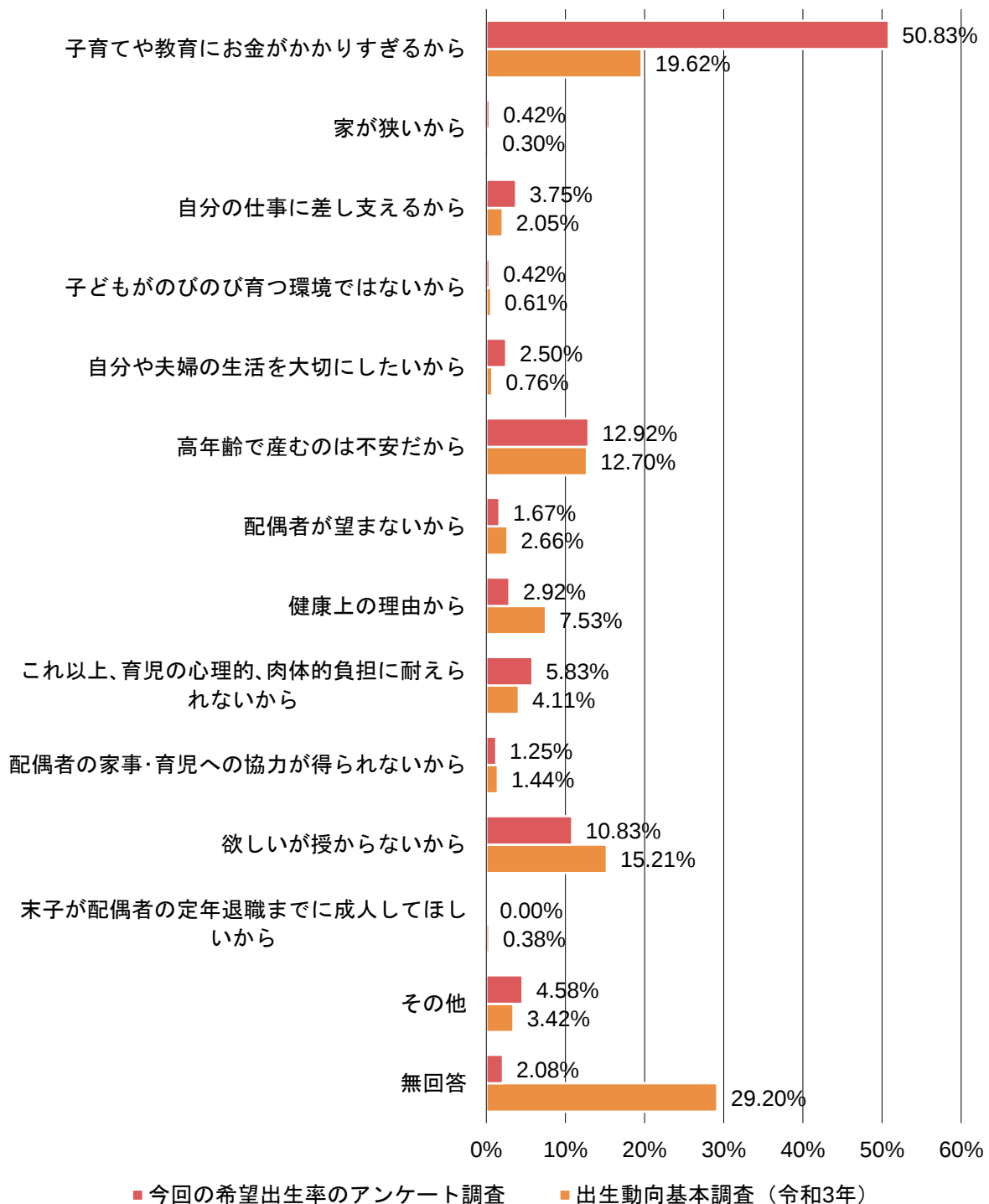


図表 33 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由  
(年代別クロス集計、回答者数上位3つ)

| 順位 | 20代                            | 30代                                                           | 40代                             |
|----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 1位 | 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」<br>(100%) | 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」<br>(73.8%)                               | 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」<br>(35.1%) |
| 2位 | —                              | 「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」<br>「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」<br>(6.0%) | 「高年齢で産むのは不安だから」<br>(19.6%)      |
| 3位 | —                              | 「その他」<br>(4.8%)                                               | 「欲しいが授からないから」<br>(16.2%)        |

社人研「出生動向基本調査（令和3年）」との比較は、図表 34 のとおりである。「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が圧倒的に鎌倉市は高く、昨今の物価高や実質賃金の伸び悩み等の影響もあり、金銭的負担が子育てへの足かせになっていることが分かる。

図表 34 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由 — 比較<sup>23</sup>



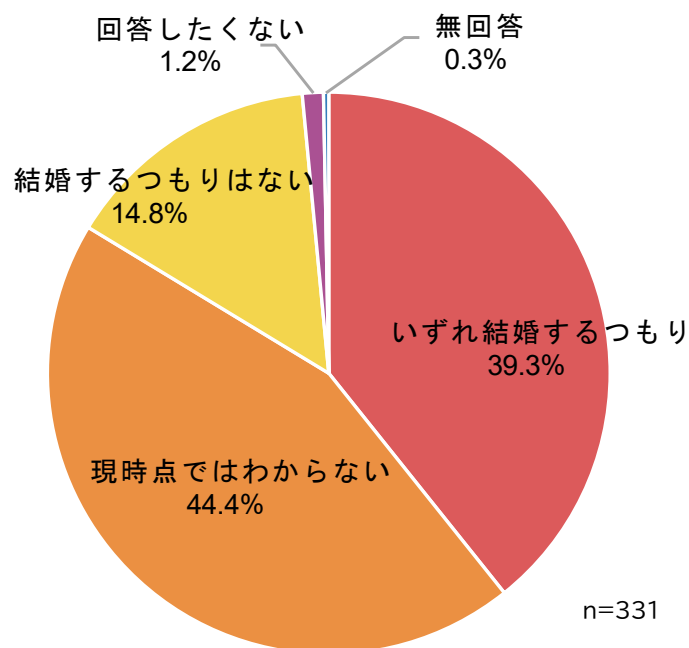
<sup>23</sup> 社人研「出生動向基本調査(令和3年)」は、当てはまる選択肢すべてに「○」を付け、その中で最も重要なものに「◎」を付ける形式の設問となっている。出生動向基本調査では無回答という区分の集計は行われていないが、図表 34 では、回答総数から最も重要なものに関する回答数を差し引いた数を「無回答」として集計した。

#### （４）今後の結婚に対する考え（未婚・離別・死別） 一問 7

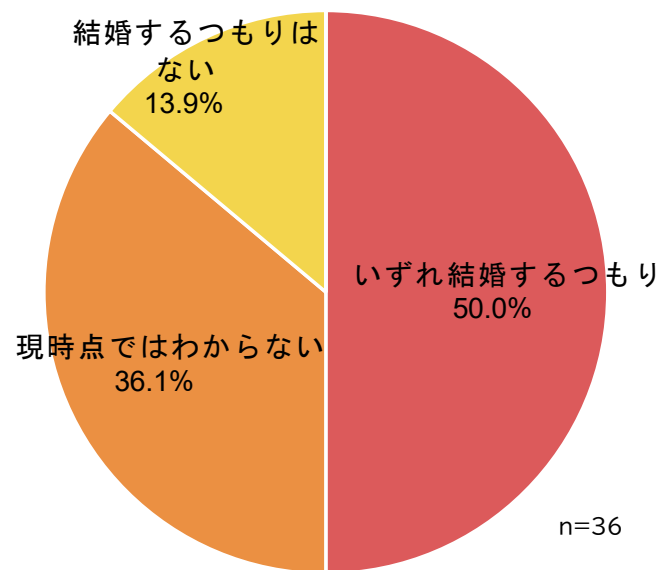
問 2 において未婚又は離別・死別と回答した者に対し、今後の結婚に対する考えを尋ねたところ、「現時点ではわからない」が最も多く（44.4%）、次いで「いずれ結婚するつもり」（39.3%）、「結婚するつもりはない」（14.8%）となった。

年代別にクロス集計を行ったところ、10 代及び 20 代は「いずれ結婚するつもり」と回答した者が最も多く、30 代及び 40 代は「現時点ではわからない」が最も多い。

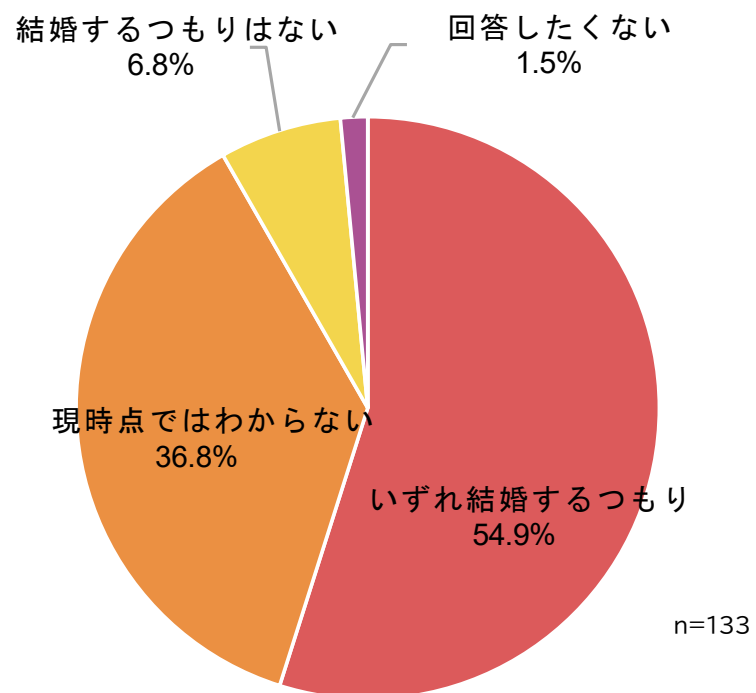
図表 35 今後の結婚に対する考え(未婚・離別・死別)



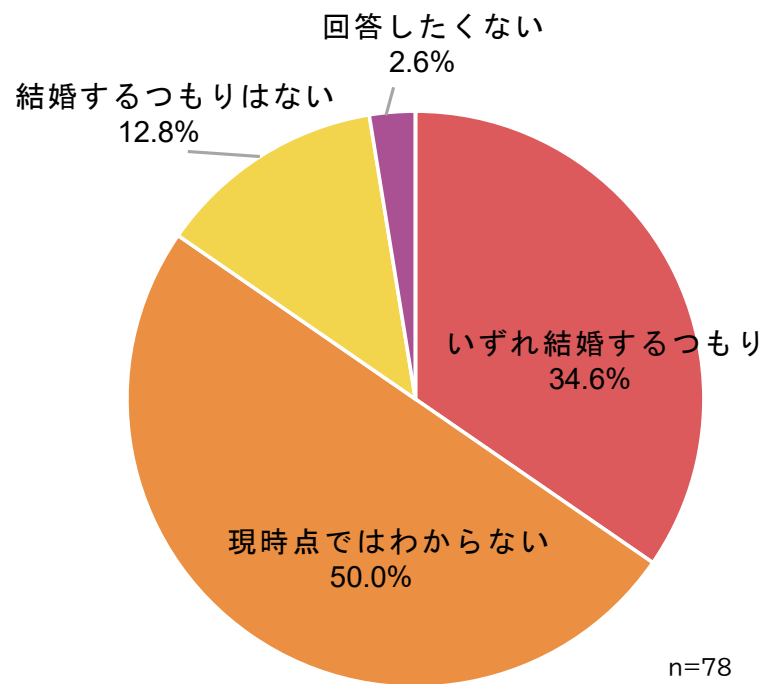
図表 36 今後の結婚に対する考え(未婚・離別・死別、10代)



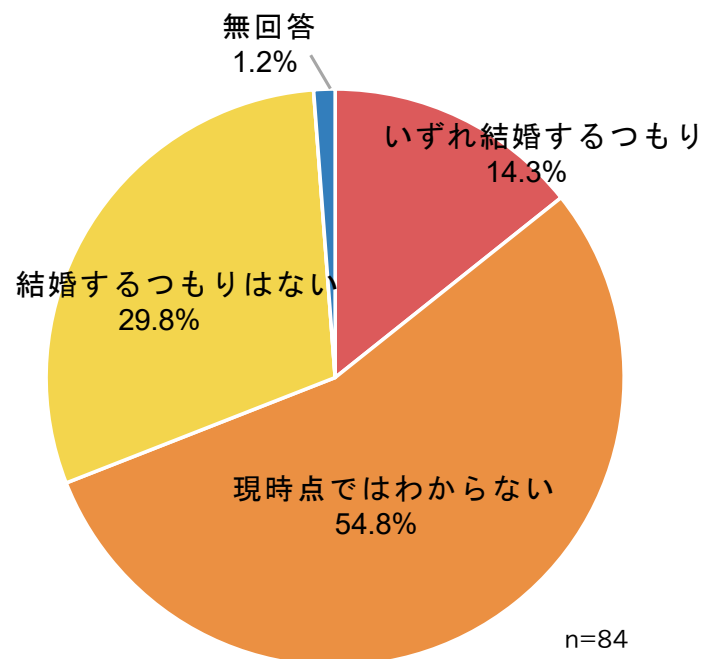
図表 37 今後の結婚に対する考え(未婚・離別・死別、20代)



図表 38 今後の結婚に対する考え(未婚・離別・死別、30代)



図表 39 今後の結婚に対する考え(未婚・離別・死別、40代)



国勢調査を基にしたそれぞれの年代における有配偶者割合は、図表 40 のとおりである。鎌倉市は、34 歳以下の年齢において神奈川県及び全国のいずれよりも有配偶者割合が低い。

図表 40 有配偶者割合(女性・年代別、国勢調査(令和2年))<sup>24</sup>

|         | 鎌倉市    | 神奈川県   | 全国     |
|---------|--------|--------|--------|
| 15-19 歳 | 0.16%  | 0.28%  | 0.33%  |
| 20-24 歳 | 2.90%  | 5.11%  | 6.71%  |
| 25-29 歳 | 24.93% | 30.93% | 33.09% |
| 30-34 歳 | 54.03% | 58.35% | 57.80% |
| 35-39 歳 | 68.19% | 69.73% | 67.71% |
| 40-44 歳 | 73.86% | 73.06% | 70.23% |
| 45-49 歳 | 73.53% | 72.30% | 69.58% |

凡例:

- :最も有配偶者割合が高い
- :2番目に有配偶者割合が高い
- :最も有配偶者割合が低い

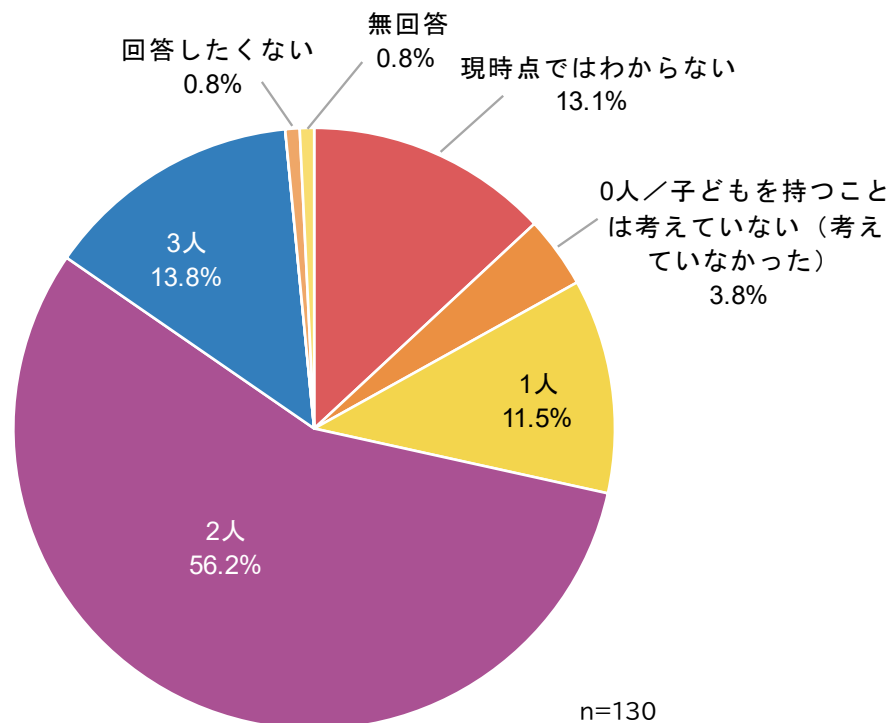
<sup>24</sup> 令和2年国勢調査を基に MURC が試算。

### （５）結婚後に欲しい子どもの人数（未婚・離別） 一問 8

問 7 で「いずれ結婚するつもり」と回答した者に対し、結婚後に欲しい子どもの人数を尋ねたところ、「2 人」が最も多く（56.2%）、次いで、「3 人」（13.8%）、「現時点ではわからない」（13.1%）となった。「現時点ではわからない」及び「回答したくない」、「無回答」を除いて集計すると、平均は 1.94 人となる<sup>25</sup>。

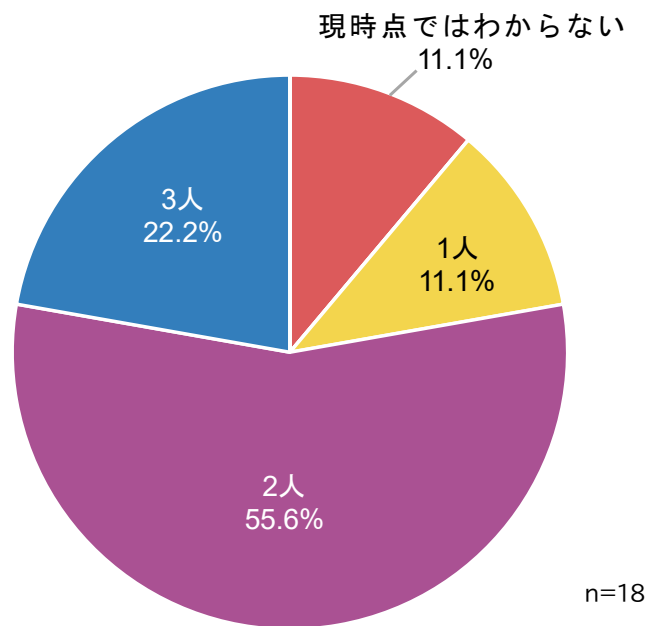
年代別の予定する子どもの人数は、10 代が平均 2.13 人、20 代が平均 1.97 人、30 代が平均 1.90 人、40 代が平均 1.50 人となり、年代が上がるにつれて予定する子どもの人数が減少している。

図表 41 結婚後に欲しい子どもの人数(未婚・離別・死別)

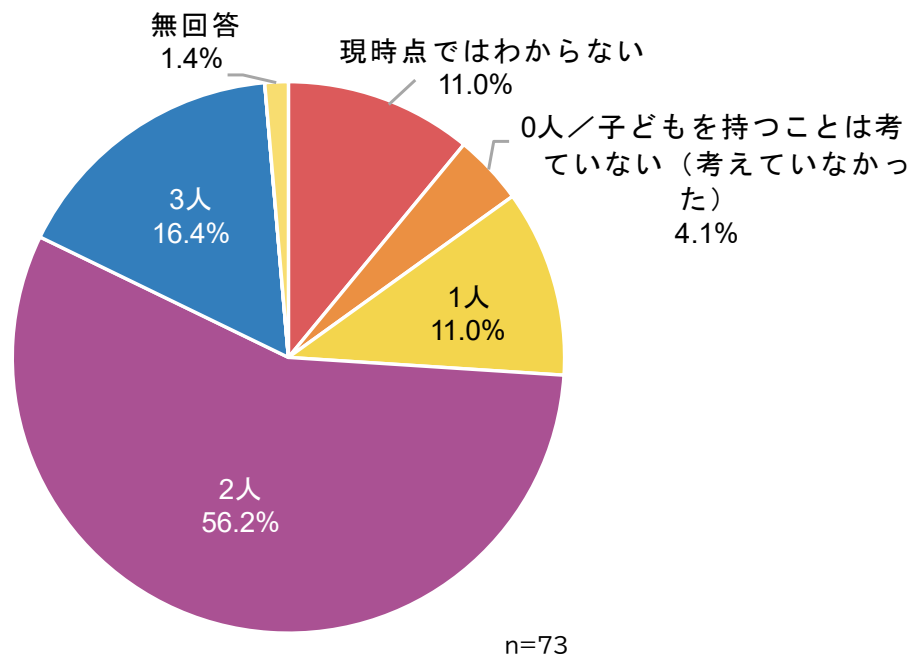


<sup>25</sup> ここではアンケート調査対象者すべて(18～49 歳)を集計している。希望出生率では 18～34 歳を対象に集計するため、集計対象が異なる。そのため、希望出生率試算時と独身者の希望子ども数異なる。

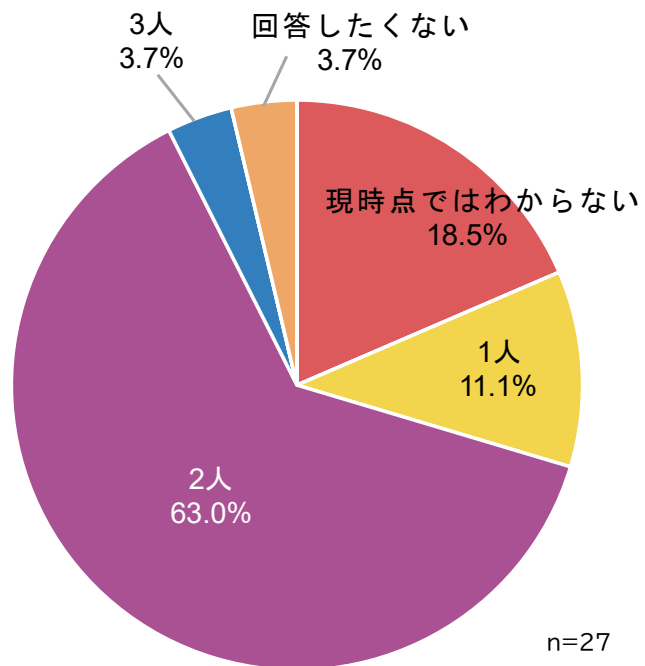
図表 42 結婚後に欲しい子どもの人数(未婚・離別・死別、10代)



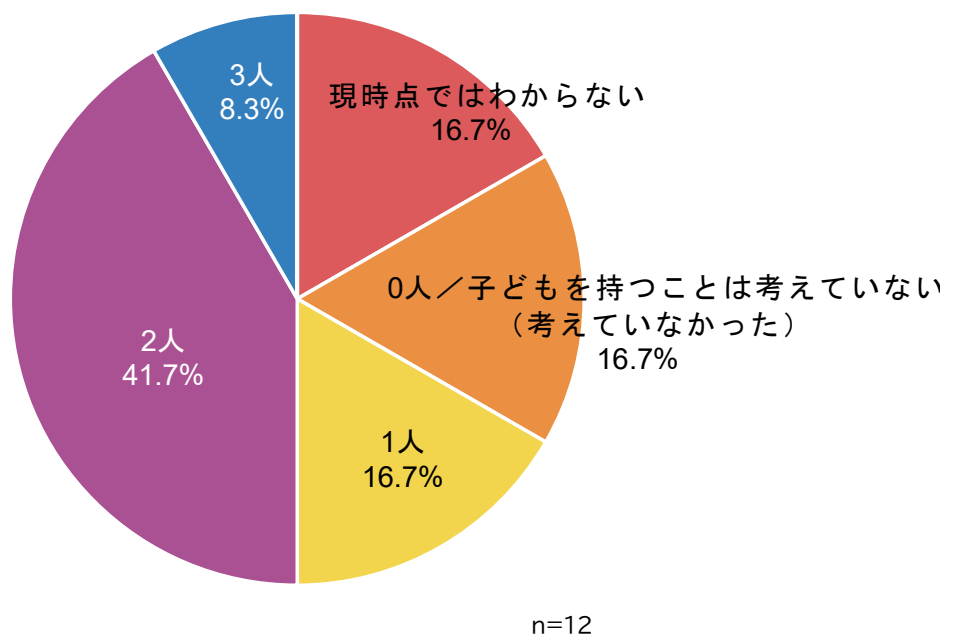
図表 43 結婚後に欲しい子どもの人数(未婚・離別・死別、20代)



図表 44 結婚後に欲しい子どもの人数(未婚・離別・死別、30代)



図表 45 結婚後に欲しい子どもの人数(未婚・離別・死別、40代)



現行の希望出生率を算出した際のアンケート調査における結果との比較は、図表 46 のとおりである。社人研「出生動向基本調査（平成 22 年）」との比較では、全体及び 10 代、20 代は今回の希望出生率のアンケート調査の結果の方が結婚後に欲しい子どもの人数が少なく、30 代及び 40 代では今回のアンケート調査の結果の方が多い。社人研「出生動向基本調査（令和 3 年）」と比較すると、今回のアンケート調査の結果の方が、生涯の結婚意思がある独身女性が結婚後に欲しい子どもの人数がいずれの年代においても多くなっている。現行の希望出生率のアンケート調査の結果との比較では、20 代以外の年代及び全体は今回のアンケート調査の結果の方が多くなっている。

図表 46 結婚後に欲しい子どもの人数 - 比較

|      | 今回の希望出生率<br>のアンケート調査 | 現行の希望出生率<br>のアンケート調査 | 社人研「出生動向基<br>本調査(令和 3 年)」<br><sup>26</sup> | 社人研「出生動向基<br>本調査(平成 22<br>年)」 <sup>27・28</sup> |
|------|----------------------|----------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 全体   | 1.94 人               | 1.87 人 <sup>29</sup> | 1.66 人                                     | 2.03 人                                         |
| 10 代 | 2.13 人               | 2.00 人               | 1.90 人                                     | 2.16 人                                         |
| 20 代 | 1.97 人               | 2.19 人               | 1.83 人                                     | 2.14 人                                         |
| 30 代 | 1.90 人               | 1.84 人               | 1.46 人                                     | 1.86 人                                         |
| 40 代 | 1.50 人               | 0.90 人               | 0.98 人                                     | 1.40 人                                         |

<sup>26</sup> 社人研「出生動向基本調査(令和3年)」を基に MURC が試算。

<sup>27</sup> 国の希望出生率 1.8 は、社人研「出生動向基本調査(平成 22 年)」のデータに基づいて算出されている。

<sup>28</sup> 社人研「出生動向基本調査(平成 22 年)」を基に MURC が試算。

<sup>29</sup> 今回の希望出生率のアンケート調査の全体の結婚後に欲しい子どもの人数と同様に、ここでは 18～49 歳を集計対象としているため、現行の希望出生率の算出時の数値と異なる。

### III. 希望出生率のバックデータ

希望出生率の算出のために用いた数値は図表 47 のとおりである。

図表 9 のとおり、希望出生率の算出に当たって「1. 現時点ではわからない」又は「8. 回答したくない」を選択した者、無回答の者を除外している。そのため、「II. アンケート調査の結果」のデータと一致しないことがある。

図表 47 希望出生率のバックデータ

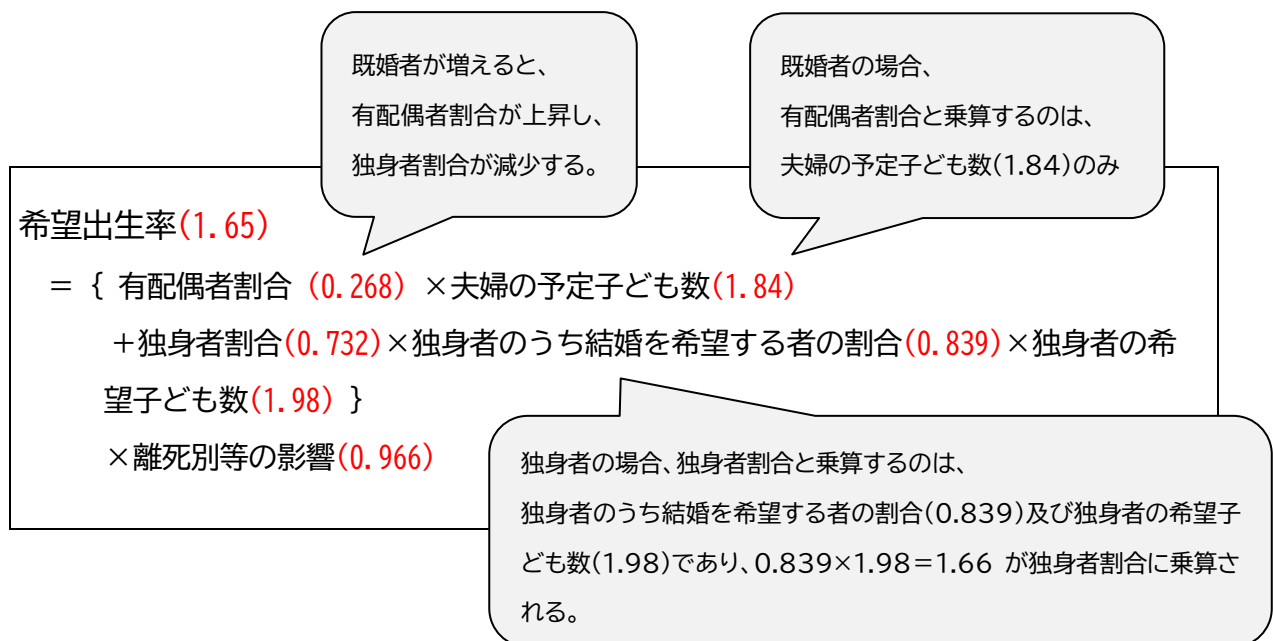
| 項目                | 内訳                                                             | 値     |
|-------------------|----------------------------------------------------------------|-------|
| 夫婦の予定子ども数         | 18～49 歳の既婚女性数                                                  | 500 人 |
|                   | 18～49 歳の既婚女性の予定子ども数合計                                          | 938 人 |
| 独身者のうち結婚を希望する者の割合 | 18 歳～34 歳の結婚していない(未婚または離別・死別)の女性                               | 112 人 |
|                   | 18 歳～34 歳の結婚していない(未婚または離別・死別)の女性のうち「いずれ結婚するつもり」と回答した人数         | 94 人  |
| 独身者の希望子ども数        | 18 歳～34 歳の結婚していない(未婚または離別・死別)の女性のうち「いずれ結婚するつもり」と回答した人数         | 94 人  |
|                   | 18 歳～34 歳の結婚していない(未婚または離別・死別)の女性のうち「いずれ結婚するつもり」と回答した人の希望子ども数合計 | 186 人 |

#### IV. 希望出生率の特性と対応の方向性に関する考察

鎌倉市は全国及び神奈川県に比べて 34 歳以下の有配偶者割合が低い一方で（図表 40）、全国に比べ独身女性が結婚後に欲しい子どもの人数が多い（図表 46、社人研「出生動向基本調査（令和 3 年）」比）。そのため、若い世代の結婚を後押しして全国並みの有配偶者割合の水準を実現することで出生率が上昇する可能性がある。

また、希望出生率の算出式上、夫婦の予定子ども数には有配偶者割合のみが乗じられるが、独身者の希望子ども数には独身者のうち結婚を希望する者の割合と独身者割合の両方が乗じられる。今回の希望出生率のアンケート調査では、夫婦の予定子ども数が 1.84 人であるのに対し、独身者の希望子ども数が 1.98 人、独身者のうち結婚を希望する者の割合が 83.9%であるから、既婚者の場合には 1.84 人が有配偶者割合に、独身者の場合には 1.66 人（ $1.98 \times 0.839$ ）が独身者割合に乘じられる（図表 48）。そのため、結婚を後押しして有配偶者割合を向上させることは、希望出生率の上昇にもつながると考えられる。

図表 48 希望出生率算出における有配偶者と独身者の関係



→ 独身者の場合よりも、既婚者の場合の方が乗算される数値が高いため（ $1.84 > 1.66$ ）、既婚者が増えると希望出生率が上昇する。

### 3 (参考) 調査票

#### 調 査 票

★まず初めに、回答方法記載の資料にある ID を【 】内にご記入ください

【 ID 

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

 】

本調査でお聞きする情報は、希望出生率の算出に用います。希望出生率は、将来の鎌倉市の人口構造の推計及び子育て支援を始めとする各種施策の検討に役立てられます。

※希望出生率とは、若い世代（本調査の対象者）における結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう場合に想定される出生率で、政府・自治体において算出され、施策検討等に活用されています。

問1.令和6年(2024年)4月1日時点のあなたの年齢を教えてください。

年齢 

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

 歳

問2.令和6年(2024年)4月1日時点であなたはご結婚をされていますか。【1つだけ選択】

|    |                             |             |
|----|-----------------------------|-------------|
| 1. | 結婚している(既婚)                  | →問3へ        |
| 2. | 結婚していない(未婚)                 | →問7へ        |
| 3. | かつて結婚していたが、今は結婚していない(離別・死別) | →問7へ        |
| 4. | 回答したくない                     | →アンケートは以上です |

※鎌倉市パートナーシップ宣誓制度を利用されている方も、1をご選択ください

【問3から問6は、問2で「1. 結婚している(既婚)」と回答された方にお伺いします】

問3.あなたにとって、理想的なお子さんの人数は何人ですか。【1つだけ選択】

|    |                              |
|----|------------------------------|
| 1. | 現時点ではわからない                   |
| 2. | 0人／子どもをもつことは考えていない(考えていなかった) |
| 3. | 1 人                          |
| 4. | 2 人                          |

|    |                                              |
|----|----------------------------------------------|
| 5. | 3 人                                          |
| 6. | 4 人                                          |
| 7. | 5 人以上 ⇒ [                      ] ※人数をご記入ください |
| 8. | 回答したくない                                      |

問4.あなた方ご夫婦は全部で何人お子さんを持つご予定ですか。【1つだけ選択】

|    |                                              |
|----|----------------------------------------------|
| 1. | 現時点ではわからない                                   |
| 2. | 0人／子どもを持つことは考えていない(考えていなかった)                 |
| 3. | 1 人                                          |
| 4. | 2 人                                          |
| 5. | 3 人                                          |
| 6. | 4 人                                          |
| 7. | 5 人以上 ⇒ [                      ] ※人数をご記入ください |
| 8. | 回答したくない                                      |

**【持つご予定のお子さんの人数(問4の答)が、理想的なお子さんの人数(問3の答)より少ない方にお伺いします】**

問5.持つご予定のお子さんの人数が、理想的なお子さんの人数より少ないのはなぜですか。次の理由のうちから、当てはまるものをすべて選んでください。【当てはまるものすべてを選択】

|    |                            |
|----|----------------------------|
| 1. | 子育てや教育にお金がかかりすぎるから         |
| 2. | 家が狭いから                     |
| 3. | 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから       |
| 4. | 子どもがのびのび育つ環境(家庭や地域)ではないから  |
| 5. | 自分や夫婦の生活を大切にしたいから          |
| 6. | 高年齢で産むのは不安だから              |
| 7. | 配偶者(夫または妻やパートナー)が望まないから    |
| 8. | 健康上の理由から                   |
| 9. | これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |

|     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| 10. | 配偶者(夫または妻やパートナー)の家事・育児への協力が得られないから   |
| 11. | 欲しいが授からないから                          |
| 12. | 末子が配偶者(夫または妻やパートナー)の定年退職までに成人してほしいから |
| 13. | その他( )                               |

問6.問5で答えた理由のうち、最も当てはまるものを1つ選択してください。【1つだけ選択】

|     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| 1.  | 子育てや教育にお金がかかりすぎるから                   |
| 2.  | 家が狭いから                               |
| 3.  | 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから                 |
| 4.  | 子どもがのびのび育つ環境(家庭や地域)ではないから            |
| 5.  | 自分や夫婦の生活を大切にしたいから                    |
| 6.  | 高年齢で産むのは不安だから                        |
| 7.  | 配偶者(夫または妻やパートナー)が望まないから              |
| 8.  | 健康上の理由から                             |
| 9.  | これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから           |
| 10. | 配偶者(夫または妻やパートナー)の家事・育児への協力が得られないから   |
| 11. | 欲しいが授からないから                          |
| 12. | 末子が配偶者(夫または妻やパートナー)の定年退職までに成人してほしいから |
| 13. | その他( )                               |

**【問7は、問2で「2. 結婚していない(未婚)」または「3. かつて結婚していたが、今は結婚していない(離別・死別)」と回答された方にお伺いします】**

問7.あなたの今後の結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。【1つだけ選択】

|    |            |             |
|----|------------|-------------|
| 1. | いずれ結婚するつもり | →問8へ        |
| 2. | 現時点ではわからない | →アンケートは以上です |
| 3. | 結婚するつもりはない | →アンケートは以上です |
| 4. | 回答したくない    | →アンケートは以上です |

**【問8は、問7で「1. いずれ結婚するつもり」と回答された方にお伺いします】**

問8.結婚後、お子さんをもつとしたら、何人くらいほしいですか。【1つだけ選択】

|    |                                              |
|----|----------------------------------------------|
| 1. | 現時点ではわからない                                   |
| 2. | 0人／子どもをもつことは考えていない(考えていなかった)                 |
| 3. | 1 人                                          |
| 4. | 2 人                                          |
| 5. | 3 人                                          |
| 6. | 4 人                                          |
| 7. | 5 人以上 ⇒ [                      ] ※人数をご記入ください |
| 8. | 回答したくない                                      |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。